

#2

S&H Form: (2/01)

Attorney Docket No. 1341.1096

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:

Tadashi OHASHI

Application No.:

Group Art Unit:

Filed: June 12, 2001

Examiner:

For: METHOD OF AND APPARATUS FOR EXAMINING DOCUMENTS, AND COMPUTER PROGRAM

31017 U.S. PTO
09/879060
06/13/01

**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. §1.55**

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. §1.55, the applicant(s) submit(s) herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2001-032926

Filed: February 8, 2001

It is respectfully requested that the applicant(s) be given the benefit of the foreign filing date(s) as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of 35 U.S.C. §119.

Respectfully submitted,

STAAS & HALSEY LLP

Date: June 12, 2001

By: _____

James D. Halsey, Jr.
Registration No. 22,729

700 11th Street, N.W., Ste. 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

©2001 Staas & Halsey LLP

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2001年 2月 8日

出 願 番 号

Application Number:

特願2001-032926

出 願 人

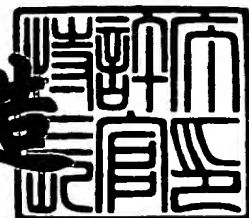
Applicant(s):

富士通株式会社

2001年 5月11日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3038024

【書類名】 特許願

【整理番号】 0051748

【提出日】 平成13年 2月 8日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 15/40

【発明の名称】 書面審議装置、書面審議方法および書面審議プログラム

【請求項の数】 9

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

【氏名】 大橋 正

【特許出願人】

【識別番号】 000005223

【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

【識別番号】 100089118

【弁理士】

【氏名又は名称】 酒井 宏明

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 036711

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9717671

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 書面審議装置、書面審議方法および書面審議プログラム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 電子化された審議書面を審議書面データベースに格納する審議書面格納手段と、

前記審議書面を審議する審議者の属性情報を属性情報データベースとして格納する属性情報格納手段と、

前記審議者の属性情報に基づいて、依頼者に審議者を選択させる選択手段と、

前記選択手段により選択された審議者にネットワークを介して前記審議書面の審議を依頼する審議依頼手段と、

を備えたことを特徴とする書面審議装置。

【請求項 2】 前記審議者に前記審議書面を閲覧させる審議書面閲覧手段と

前記審議者により審議された前記審議書面の審議結果を回収する回収手段と、
前記回収手段により回収された前記審議結果を前記依頼者に閲覧させる審議結果閲覧手段とを備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の書面審議装置。

【請求項 3】 前記審議書面格納手段は、前記審議者の属性情報に対応付けて前記審議書面の重要度を設定し、前記審議書面閲覧手段は、前記重要度に応じて閲覧の許可／禁止を制御することを特徴とする請求項 2 に記載の書面審議装置。

【請求項 4】 前記審議結果の回収状況をチェックし、予め設定された回収期限の前後に、当該審議者に対して審議を督促する督促手段を備えたことを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか一つに記載の書面審議装置。

【請求項 5】 回収された前記審議結果におけるフレーズ毎に XML タグを付け、該審議結果を審議結果データベースとして格納する審議結果格納手段と、前記審議結果データベースに格納された前記審議結果を集計し、前記依頼者へ集計結果を閲覧させる集計結果閲覧手段とを備えたことを特徴とする請求項 2 ～ 4 のいずれか一つに記載の書面審議装置。

【請求項 6】 前記審議書面格納手段は、前記審議書面のファイルを少なく

ともXMLファイルに変換したものを前記審議書面データベースに格納すること
を特徴とする請求項1～5のいずれか一つに記載の書面審議装置。

【請求項7】 前記審議書面の作成時に、前記審議書面データベースに格納
された審議書面を雛型として提供する雛型提供手段を備えたことを特徴とする請
求項1～6のいずれか一つに記載の書面審議装置。

【請求項8】 電子化された審議書面を審議書面データベースに格納する審
議書面格納工程と、

前記審議書面を審議する審議者の属性情報を属性情報データベースとして格納
する属性情報格納工程と、

前記審議者の属性情報に基づいて、依頼者に審議者を選択させる選択工程と、

前記選択工程で選択された審議者にネットワークを介して前記審議書面の審議
を依頼する審議依頼工程と、

を含むことを特徴とする書面審議方法。

【請求項9】 電子化された審議書面を審議書面データベースに格納させる
審議書面格納工程と、

前記審議書面を審議する審議者の属性情報を属性情報データベースとして格納
させる属性情報格納工程と、

前記審議者の属性情報に基づいて、依頼者に審議者を選択させる選択工程と、

前記選択工程で選択された審議者にネットワークを介して前記審議書面の審議
を依頼させる審議依頼工程と、

をコンピュータに実行させるための書面審議プログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、企業等における書面審議をクライアント／サーバ型のシステム構成
で実現するための書面審議装置、書面審議方法および書面審議プログラムに関す
るものであり、特に、書面審議にかかる労力およびコストを低減することができ
る書面審議装置、書面審議方法および書面審議プログラムに関するものである。

【0002】

従来より、企業では、各種プロジェクトや社内ルール等の制定時または改版時に、かかる内容を記載した審議依頼書面が紙ベースで関連部門や社外取引先等へ配布され、当該審議依頼書面の内容が審議される。しかしながら、従来では、紙ベースで審議依頼書面が配布されるため、コピーの作成、配布先の管理、審議結果の回収・集計管理、未回収時の催促等に膨大な労力およびコストがかかっていた。従って、従来よりかかる問題を効果的に解決することができる手段、方法が切望されていた。

【 0 0 0 3 】

【従来の技術】

上述したように、従来では、企業においては、書面審議を経てあらゆる仕事が遂行されている。具体的には、審議依頼者は、審議依頼内容の要約書や審議依頼内容の詳細を記載した審議依頼書面の原本を作成した後、配布先の数分だけ当該原本一式をコピーしこれらを封筒詰めする。つぎに、審議依頼者は、複数の封筒に配布先情報（部門、メール番号、審議担当者、職制）をそれぞれ記載した後、社内の郵便システムを利用して、各配布先に審議依頼書面一式を配布する。ここで、配布先情報は、人事異動、組織変更がある度に、職制管理部門により公開された職制表に基づいて更新される。

【 0 0 0 4 】

そして、審議依頼書面が審議担当者に配布されると、当該審議担当者は、審議依頼書面を審議し、審議結果（承認、却下、変更）の回答を紙ベースで審議依頼者へ郵便システムを利用して発送する。そして、審議依頼者は、複数の審議者からの審議結果の回答を紙ベースで回収した後、回答結果を集計する作業を実施する。集計後は、回答された内容が書面内容に反映される。ここで、所定の回答期限を過ぎても審議結果の回答が回収されない場合、審議依頼者には、当該審議担当者に対して電話等により督促する作業が別途発生する。

【 0 0 0 5 】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、前述したように、従来では、審議依頼書面の配布や審議結果の回答の回収を紙ベースで行っているため、全体として膨大な量の紙が必要になるとと

もに、配布作業、回収作業、集計作業等の一連の書面審議のための作業に多大な労力、コストがかかるという問題があった。

【0006】

また、従来においては、人事異動、組織変更に伴い、配布先（審議担当者）の所属部門、職制等の変更を正確に配布先情報に反映させなければならぬため、配布先情報の管理だけをとっても多大な労力、コストがかかることは容易に想像できる。特に、人事異動、組織変更が頻繁に行われる企業では、かかる問題が顕著となる。

【0007】

本発明は、上記に鑑みてなされたもので、書面審議にかかる労力、コストを低減することができる書面審議装置、書面審議方法および書面審議プログラムを提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明は、電子化された審議書面を審議書面データベースに格納する審議書面格納手段と、前記審議書面を審議する審議者の属性情報を属性情報データベースとして格納する属性情報格納手段と、前記審議者の属性情報に基づいて、依頼者に審議者を選択させる選択手段と、前記選択手段により選択された審議者にネットワークを介して前記審議書面の審議を依頼する審議依頼手段とを備えたことを特徴とする。

【0009】

また、本発明は、電子化された審議書面を審議書面データベースに格納する審議書面格納工程と、前記審議書面を審議する審議者の属性情報を属性情報データベースとして格納する属性情報格納工程と、前記審議者の属性情報に基づいて、依頼者に審議者を選択させる選択工程と、前記選択工程で選択された審議者にネットワークを介して前記審議書面の審議を依頼する審議依頼工程とを含むことを特徴とする。

【0010】

また、本発明は、電子化された審議書面を審議書面データベースに格納させる

審議書面格納工程と、前記審議書面を審議する審議者の属性情報を属性情報データベースとして格納させる属性情報格納工程と、前記審議者の属性情報に基づいて、依頼者に審議者を選択させる選択工程と、前記選択工程で選択された審議者にネットワークを介して前記審議書面の審議を依頼させる審議依頼工程とをコンピュータに実行させるための書面審議プログラムである。

【 0 0 1 1 】

かかる発明によれば、審議者の属性情報に基づいて依頼者に審議者を選択させ、この選択された審議者にネットワークを介して審議書面の審議を依頼するようにしたので、従来のように紙ベースで依頼を行う場合に比して、書面審議にかかる労力、コストを低減することができる。

【 0 0 1 2 】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照して本発明にかかる書面審議装置、書面審議方法および書面審議プログラムの一実施の形態について詳細に説明する。

【 0 0 1 3 】

図 1 は、本発明にかかる一実施の形態の構成を示すブロック図である。この図には、前述した書面審議をクライアント／サーバ構成で実現するための書面審議システムが図示されている。

【 0 0 1 4 】

この書面審議システムは、インターネット 110 にそれぞれ接続された、審議依頼者側クライアント 100₁ ～ 100_n、審議／回答者側クライアント 120₁ ～ 120_s、調査者側クライアント 130 およびサーバ 200 から構成されている。なお、図 1 においては、説明を簡単にするために、インターネット接続上必要な通信装置（ターミナルアダプタ、ルータ、ファイアウォール等）の図示が省略されている。

【 0 0 1 5 】

審議依頼者側クライアント 100₁ ～ 100_n は、TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol) に従って、インターネット 110 を介してサーバ 200 にアクセス可能な n 台のコンピュータ装置である。これらの

審議依頼者側クライアント $100_1 \sim 100_n$ のそれぞれは、コンピュータ本体、ディスプレイ、キーボード、マウス等から構成されている。

【0016】

また、これらの審議依頼者側クライアント $100_1 \sim 100_n$ は、前述した書面審議を審議／回答者に依頼する複数の書面審議依頼者によりそれぞれ操作される。ここでいう審議／回答者とは、書面審議を行い、審議結果を回答する者である。さらに、これらの審議依頼者側クライアント $100_1 \sim 100_n$ には、メーラ（図示略）およびWebブラウザが備えられている。

【0017】

メーラは、図示しないメールサーバを介して電子メールを送信／受信するための機能を提供する。この電子メールの送信／受信には、SMTP (Simple Mail Transfer Protocol) やPOP3 (Post Office Protocol version 3) が利用される。Webブラウザは、サーバ200により提供されるWebページを閲覧するためのソフトウェアプログラムである。

【0018】

審議／回答者側クライアント $120_1 \sim 120_s$ は、TCP/IPに従って、インターネット110を介してサーバ200にアクセス可能なs台のコンピュータ装置である。これらの審議／回答者側クライアント $120_1 \sim 120_s$ のそれぞれは、コンピュータ本体、ディスプレイ、キーボード、マウス等から構成されている。

【0019】

また、これらの審議／回答者側クライアント $120_1 \sim 120_s$ は、上述した書面審議の依頼を受けた複数の審議／回答者によりそれぞれ操作される。さらに、これらの審議／回答者側クライアント $120_1 \sim 120_n$ には、メーラおよびWebブラウザが備えられている。

【0020】

調査者側クライアント130は、TCP/IPに従って、インターネット110を介してサーバ200にアクセス可能なコンピュータ装置であり、コンピュータ本体、ディスプレイ、キーボード、マウス等から構成されている。この調査者

側クライアント130は、書面審議を依頼する前に当該審議対象を調査するための調査者により操作される。また、調査者側クライアント130には、メーラおよびWebブラウザが備えられている。

【0021】

サーバ200は、審議依頼者側クライアント100₁～100_n、審議／回答者側クライアント120₁～120_sに対して、Web画面（図14～図35参照）や電子メールを介して、書面審議にかかる各種機能を提供するサーバであり、書面審議装置として機能する。上記各種機能の詳細については、後述する。

【0022】

サーバ200において、通信制御部210は、TCP/IPに従って、インターネット110を介して外部装置との間の通信を制御する。メイン制御部220は、書面審議機能を実現するための各種制御を行う。このメイン制御部220の動作の詳細については後述する。メール制御部230は、サーバ200と外部装置との間におけるメールの送受信を制御する。Web画面生成部240は、図14～図35にそれぞれ示したWeb画面を自動生成する。

【0023】

データベース300は、サーバ200に構築されており、メイン制御部220の制御により各種情報を格納する。このデータベース300は、ユーザ情報メタ情報310～依頼者設定メタ情報390から構成されている。以下では、これらのユーザ情報メタ情報310～依頼者設定メタ情報390について、図2～図4を参照しつつ詳細に説明する。

【0024】

図2（a）に示したユーザ情報メタ情報310は、サーバ200のユーザ（審議依頼者、審議／回答者）に関するユーザ情報からなるメタ情報であり、「ユーザID」、「パスワード」、「メールアドレス」、「氏名」、「役職コード」、「内線番号」、「部門コード」、「プロジェクトコード」および「依頼順位」というフィールドを備えている。

【0025】

「ユーザID」は、ユーザを識別するための識別子であり、例えば、従業員番

号である。「パスワード」は、上記「ユーザID」とともにユーザ認証に用いられる。「メールアドレス」は、ユーザに付与された電子メールアドレスである。

「氏名」は、ユーザの氏名に関する情報である。

【0026】

「役職コード」は、ユーザの役職を識別するためのコードである。「内線番号」は、ユーザの内線番号である。「部門コード」は、ユーザが属する部門を識別するためのコードである。「プロジェクトコード」は、ユーザが関わっているプロジェクトを識別するためのコードである。「依頼順位」は、当該ユーザが審議依頼者である場合に、部門毎に審議依頼をした順に設定される数値である。

【0027】

図2（b）に示した会社情報メタ情報320は、書面審議システムを利用する会社に関する会社情報からなるメタ情報であり、「会社コード」および「会社名」というフィールドを備えている。「会社コード」は、書面審議システムの利用を許可された会社を識別するためのコードである。「会社名」は、上記会社の名称である。

【0028】

図2（c）に示した本部情報メタ情報330は、会社の組織における本部に関する本部情報からなるメタ情報であり、「本部コード」および「本部名」というフィールドを備えている。「本部コード」は、本部を識別するためのコードである。「本部名」は、本部の名称である。

【0029】

図2（d）に示した事業部情報メタ情報340は、会社の組織において上記本部の配下に属する事業部に関する事業部情報からなるメタ情報であり、「事業部コード」および「事業部名」というフィールドを備えている。「事業部コード」は、事業部を識別するためのコードである。「事業部名」は、上記事業部の名称である。

【0030】

図3（a）に示した部門情報メタ情報350は、会社組織における部門に関する部門情報からなるメタ情報であり、「部門コード」、「会社コード」、「本部

コード」、「事業部コード」、「部門名」、「権限A」、「権限B」および「権限C」というフィールドを備えている。

【0031】

「部門コード」は、部門を識別するためのコードである。「会社コード」は、図2（b）に示した「会社コード」と同義である。「本部コード」は、図2（c）に示した「本部コード」と同義である。「事業部コード」は、図2（d）に示した「事業部コード」と同義である。「部門名」は、部門の名称である。

【0032】

「権限A」、「権限B」および「権限C」は、ユーザが所属する部門に応じて、審議書面にそれぞれ設定された3種類のセキュリティレベルのうち、いずれのセキュリティレベルの審議書面を参照することができるかという権限に関する情報である。

【0033】

具体的には、セキュリティレベルとしては、特定公開レベル、限定公開レベル、および全面公開レベルという三種類が設定される。特定公開レベルの場合には、当該審議書面の重要度が最も高く（公開範囲が最も狭く）、特定の部門のユーザにのみ審議書面を参照するための「権限A」が付与される。

【0034】

全面公開レベルの場合には、当該審議書面の重要度が最も低く（公開範囲が最も広い）、全部門のユーザに書面審議を参照するための「権限C」が付与される。また、限定公開レベルは、上述した特定公開レベルと全面公開レベルとの中間レベルであり、限定された部門のユーザにのみ審議書面を参照するための「権限B」が付与される。

【0035】

ここで、部門情報メタ情報350においては、「権限A」、「権限B」または「権限C」が当該部門に付与されている場合、1フラグが立てられる。また、「権限A」、「権限B」または「権限C」が当該部門に付与されていない場合には、0フラグが立てられる。

【0036】

具体的には、部門情報メタ情報350の1レコード目の「ABC部」の場合には、「権限A」、「権限B」および「権限C」のすべてに1フラグが立てられている。従って、「ABC部」に属するユーザは、特定公開レベル、限定公開レベルおよび全面公開レベルという全てのセキュリティレベルの審議書面を参照することが許可されている。

【0037】

また、部門情報メタ情報350の2レコード目の「DEF部」の場合には、「権限A」に0フラグ、「権限B」および「権限C」に1フラグが立てられている。従って、「DEF部」に所属するユーザは、特定公開レベルの審議書面の参照が禁止されているが、限定公開レベルおよび全面公開レベルの審議書面を参照することが許可されている。

【0038】

図3(b)に示したプロジェクト情報メタ情報360は、会社におけるプロジェクトに関するプロジェクト情報からなるメタ情報であり、「プロジェクトコード」および「プロジェクト名」というフィールドを備えている。「プロジェクトコード」は、図2(a)に示した「プロジェクトコード」と同義である。「プロジェクト名」は、当該プロジェクトの名称である。

【0039】

図3(c)に示した役職情報メタ情報370は、会社における役職に関する役職情報からなるメタ情報であり、「役職コード」および「役職名」というフィールドを備えている。「役職コード」は、図2(a)に示した「役職コード」と同義である。「役職名」は、当該役職の名称である。

【0040】

図4(a)に示したユーザ所属設定メタ情報380は、ユーザの所属に関する設定情報からなるメタ情報であり、「ユーザID」、「部門コード」および「プロジェクトコード」というフィールドを備えている。これらの「ユーザID」、「部門コード」および「プロジェクトコード」は、図2(a)に示した「ユーザID」、「部門コード」および「プロジェクトコード」と同義である。

【0041】

図4（b）に示した依頼者設定メタ情報390は、書面審議依頼者を設定するための設定情報からなるメタ情報であり、「ユーザID」、「部門コード」、「依頼順位」および「プロジェクトコード」というフィールドを備えている。これらの「ユーザID」、「部門コード」、「依頼順位」および「プロジェクトコード」は、図2（a）に示した「ユーザID」、「部門コード」、「依頼順位」および「プロジェクトコード」と同義である。

【0042】

図1に戻り、XML（eXtensible Markup Language）データベース400は、後述する各種ファイルがXML形式に変換されたものを格納するデータベースである。XMLは、ユーザが独自のタグ（以下、XMLタグという）を定義することができるため、拡張性が高いマークアップ言語である。また、XMLでは、Webブラウザで情報を閲覧することができるとともに、XMLデータベース400から直接情報を引き出すこともできる。

【0043】

つぎに、上述した一実施の形態の動作について、図5～図13にそれぞれ示したフローチャートおよび図14～図35にそれぞれ示した各画面（Webページ）を参照しつつ詳細に説明する。

【0044】

図5に示したステップSA1では、メイン制御部220は、審議依頼者側クライアント100₁～100_n、審議／回答者側クライアント120₁～120_sまたは調査者側クライアント130からインターネット110を介してアクセスが有るか否かを判断し、判断結果が「No」である場合、同判断を繰り返す。

【0045】

ここで、審議依頼者側クライアント100₁がインターネット110を介してサーバ200にアクセスすると、メイン制御部220は、ステップSA1の判断結果を「Yes」とする。ステップSA2では、メイン制御部220は、審議依頼者側クライアント100₁のディスプレイ（図示略）に、図14に示したユーザ認証画面1000を表示させる。

【0046】

このユーザ認証画面1000は、当該ユーザの認証に必要な認証情報（ユーザIDおよびパスワード）を入力するための画面である。このユーザ認証画面1000では、ユーザ名称入力欄1001、パスワード入力欄1002および実行ボタン1003が設定されている。

【0047】

ステップSA3では、ユーザは、ユーザ名称入力欄1001に「ユーザID」を、パスワード入力欄1002に「パスワード」を入力した後、実行ボタン1003を押下する。これにより、ログイン処理が実行され、メイン制御部220は、入力された「ユーザID」および「パスワード」と、ユーザ情報メタ情報310（図2（a）参照）とを照合し、両者が一致するか否かにより認証を行う。ステップSA4では、メイン制御部220は、ユーザ認証結果がOK（一致）であるか否かを判断し、この判断結果が「No」である場合、認証エラーとして、ステップSA2以降で再認証を行う。

【0048】

この場合、ステップSA4の判断結果が「Yes」であるものとする。ステップSA5では、メイン制御部220は、審議依頼者側クライアント100₁のディスプレイ（図示略）に図15に示したトップメニュー画面1100を表示させる。このトップメニュー画面1100は、制定・改版処理、審議依頼処理、審議受託処理またはシステム管理処理のうちいずれかの処理を選択するための画面である。

【0049】

また、トップメニュー画面1100には、制定・改版処理を選択するための制定・改版ボタン1101と、審議依頼処理を選択するための審議依頼ボタン1102と、審議受託処理を選択するための審議受託ボタン1103と、システム管理処理を選択するためのシステム管理ボタン1104とが設定されている。

【0050】

ここで、制定・改版処理は、審議依頼者が、審議対象である審議書面（規格、ルール等に関する電子書面）を新たに制定したり、当該審議書面を改版するための処理である。審議依頼処理は、審議依頼者から審議／回答者へ上記審議書面の

審議を依頼するための処理である。審議受託処理は、審議依頼者から依頼された審議書面を審議／回答者が受託するための処理である。システム管理処理は、ユーザ情報メタ情報310（図2（a）参照）に新規ユーザ情報を登録したり、ユーザ情報の変更、削除等を行うための処理である。

【0051】

ステップSA6では、メイン制御部220は、制定・改版ボタン1101が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。ステップSA7では、メイン制御部220は、審議依頼ボタン1102が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。ステップSA8では、メイン制御部220は、審議受託ボタン1103が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。

【0052】

ステップSA9では、メイン制御部220は、システム管理ボタン1104が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。ステップSA10では、メイン制御部220は、ログアウトされたか否かを判断し、この判断結果が「Yes」である場合、ステップSA1の判断を行う。この場合、ステップSA10の判断結果が「No」であるものとする、メイン制御部220は、ステップSA5～ステップSA10までを繰り返す。

【0053】

ここで、ユーザ（この場合、審議依頼者）により、制定・改版ボタン1101が押下されると、メイン制御部220は、ステップSA6の判断結果を「Yes」として、ステップSA11で制定・改版処理を実行する。具体的には、図6に示したSB1では、メイン制御部220は、審議依頼者側クライアント100₁のディスプレイ（図示略）に図16に示した制定・改版・規格番号入力画面1200を表示させる。

【0054】

この制定・改版・規格番号入力画面1200は、新たに制定または改版される審議書面に対応する規格番号を入力するための画面である。制定・改版・規格番号入力画面1200には、規格番号入力欄1201、版数選択ボタン1202、

制定・改版ボタン 1 2 0 3、やり直しボタン 1 2 0 4 およびメニュー戻るボタン 1 2 0 5 が設定されている。

【 0 0 5 5 】

ステップ S B 2 では、メイン制御部 2 2 0 は、制定・改版ボタン 1 2 0 3 が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「N o」とする。ステップ S B 3 では、メイン制御部 2 2 0 は、やり直しボタン 1 2 0 4 が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「N o」とする。ステップ S B 4 では、メイン制御部 2 2 0 は、メニュー戻るボタン 1 2 0 5 が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「N o」とする。以後、メイン制御部 2 2 0 は、ステップ S B 2 ～ステップ S B 4 までの判断を繰り返す。

【 0 0 5 6 】

そして、ユーザ（審議依頼者）により、規格番号入力欄 1 2 0 1 に規格番号が入力され、版数選択ボタン 1 2 0 2 で版数（新規制定の場合は「1」、改版の場合は、「最終版数+1」）が選択されたものとする。ここで、入力された規格番号および版数に関しては、XMLデータベース 4 0 0 に登録済みの規格番号と同一でないこと、改版の場合に選択された版数が最終版数+1であることのチェックがメイン制御部 2 2 0 により行われる。

【 0 0 5 7 】

なお、やり直しボタン 1 2 0 4 が押下された場合、メイン制御部 2 2 0 は、ステップ S B 3 の判断結果を「Y e s」として、ステップ S B 5 の処理を実行する。やり直しボタン 1 2 0 4 は、審議依頼した審議書面の審議結果が却下である場合に、却下された審議書面（原文ファイル）を、別の審議書面（原文ファイル）に差し替えるためのボタンである。

【 0 0 5 8 】

なお、メニュー戻るボタン 1 2 0 5 が押下された場合には、メイン制御部 2 2 0 は、ステップ S B 4 の判断結果を「Y e s」として、ステップ S A 5 でトップメニュー画面 1 1 0 0（図 1 5 参照）を審議依頼者側クライアント 1 0 0₁ のディスプレイ（図示略）に表示させる。

【 0 0 5 9 】

そして、ユーザ（審議依頼者）により、制定・改版ボタン1203（図16参照）が押下されると、メイン制御部220は、ステップSB2の判断結果を「Yes」とする。ステップSB5では、メイン制御部220は、審議依頼者側クライアント100₁のディスプレイ（図示略）に、図17に示した原文ファイルアップロード画面1300を表示させる。

【0060】

この原文ファイルアップロード画面1300は、例えば、審議依頼者により作成され、審議依頼者側クライアント100₁のディレクトリに格納された審議対象である審議書面（原文）の原文ファイルを、インターネット110を介してサーバ200（XMLデータベース400）にアップロードするための画面である。

【0061】

原文ファイルアップロード画面1300には、規格名称入力欄1301、頁数入力欄1302、規格重要度選択ボタン1303、ファイル名入力欄1304、参照ボタン1305、張り付けボタン1306および閉じるボタン1307が設定されている。規格名称入力欄1301は、審議対象の規格（審議書面）の名称を入力するための欄である。頁数入力欄1302は、審議書面の頁数を入力するための欄である。規格重要度選択ボタン1303は、当該審議書面の重要度（A、B、Cのいずれか）を設定するためのボタンである。

【0062】

ここで、規格重要度A、BおよびCのそれぞれは、前述した「権限A」、「権限B」および「権限C」（図3（a）参照）に対応している。すなわち、規格重要度Aが設定された規格（審議書面）は、「権限A」が付与された部門のユーザにしか参照されない。規格重要度Bが設定された規格（審議書面）は、「権限B」が付与された部門のユーザにしか参照されない。同様に、規格重要度Cが設定された規格は、「権限C」が付与された部門のユーザにしか参照されない。

【0063】

ファイル名入力欄1304は、例えば、審議依頼者側クライアント100₁のディレクトリにおける当該原文ファイルの名称を入力するための欄である。参照

ボタン1305は、上記ディレクトリおよび原文ファイルの名称を参照するためのボタンである。張り付けボタン1306は、原文ファイルのアップロード開始を指示するためのボタンである。閉じるボタン1307は、原文ファイルアップロード画面1300を閉じるためのボタンである。

【0064】

ステップSB6では、メイン制御部220は、張り付けボタン1306が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」として、同判断を繰り返す。ここで、ユーザ（審議依頼者）は、規格名称入力欄1301、頁数入力欄1302およびファイル名入力欄1304のそれぞれに規格名称、頁数およびファイル名を入力し、かつ規格重要度選択ボタン1303で規格重要度Aを選択したものとする。そして、ユーザ（審議依頼者）により、張り付けボタン1306が押下されると、メイン制御部220は、ステップSB6の判断結果を「Yes」とする。

【0065】

ステップSB7では、アップロード処理が実行される。すなわち、審議依頼者側クライアント100₁は、インターネット110を介してサーバ200に原文ファイルをアップロードする。ステップSB8では、メイン制御部220は、アップロードされた原文ファイルを、フレーズ毎にXMLのタグを付けてXML化する。

【0066】

ステップSB9では、メイン制御部220は、XML化された原文ファイル（審議書面）をXMLデータベース400に格納した後、審議依頼者側クライアント100₁のディスプレイ（図示略）に、「アップロードが成功しました」というメッセージを表示させる。ステップSB10では、メイン制御部220は、閉じるボタン1307が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」として同判断を繰り返す。

【0067】

そして、ユーザ（審議依頼者）により、閉じるボタン1307が押下されると、メイン制御部220は、ステップSB10の判断結果を「Yes」とし、原文

ファイルアップロード画面1300を閉る。これにより、図5に示したステップSA5では、メイン制御部220は、トップメニュー画面1100（図15参照）を審議依頼者側クライアント100₁のディスプレイ（図示略）に表示させ、ステップSA6～ステップSA10までの判断を繰り返す。

【0068】

つぎに、アップロードされた原文ファイル（審議書面）を審議依頼する場合について説明する。この場合、ユーザ（審議依頼者）は、図15に示した審議依頼ボタン1102を押下する。これにより、メイン制御部220は、ステップSA7の判断結果を「Yes」とし、ステップSA12で審議依頼処理を実行する。

【0069】

具体的には、図7に示したステップSC1では、メイン制御部220は、審議依頼者側クライアント100₁のディスプレイ（図示略）に、図18に示した審議依頼・規格番号入力画面1400を表示させる。この審議依頼・規格番号入力画面1400は、審議依頼すべき審議書面に対応する規格番号を入力するための画面である。審議依頼・規格番号入力画面1400には、規格番号入力欄1401、版数選択ボタン1402、実行ボタン1403およびメニュー戻るボタン1404が設定されている。

【0070】

ステップSC2では、メイン制御部220は、実行ボタン1403が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。ステップSC3では、メイン制御部220は、メニュー戻るボタン1404が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。以後、メイン制御部220は、ステップSC2およびステップSC3の判断を繰り返す。

【0071】

そして、ユーザ（審議依頼者）により、規格番号入力欄1401に、審議依頼すべき審議書面に対応する規格番号が入力され、版数選択ボタン1402で版数が選択されたものとする。なお、メニュー戻るボタン1404が押下された場合、メイン制御部220は、ステップSC3の判断結果を「Yes」として、図5に示したステップSA5でトップメニュー画面1100（図15参照）を表示さ

せる。

【 0 0 7 2 】

ここで、ユーザ（審議依頼者）により、実行ボタン 1 4 0 3 が押下されると、メイン制御部 2 2 0 は、ステップ S C 2 の判断結果を「Y e s」とする。ステップ S C 4 では、メイン制御部 2 2 0 は、審議依頼者側クライアント 1 0 0₁ のディスプレイ（図示略）に、図 1 9 に示した審議依頼メニュー画面 1 5 0 0 を表示させる。

【 0 0 7 3 】

この審議依頼メニュー画面 1 5 0 0 は、依頼メール作成処理、原文参照処理、依頼明細参照処理、原文ダウンロード処理、審議結果確認処理、調査者回答処理、または承認処理のうちいずれかの処理を選択するための画面である。また、審議依頼メニュー画面 1 5 0 0 には、依頼メール作成処理を選択するための依頼メール作成ボタン 1 5 0 1 と、原文参照処理を選択するための原文参照ボタン 1 5 0 2 と、依頼明細参照処理を選択するための依頼明細参照ボタン 1 5 0 3 と、原文ダウンロード処理を選択するための原文ダウンロードボタン 1 5 0 4 とが設定されている。

【 0 0 7 4 】

さらに、審議依頼メニュー画面 1 5 0 0 には、審議結果確認処理を選択するための審議結果確認ボタン 1 5 0 5 と、調査者回答処理を選択するための調査者回答ボタン 1 5 0 6 と、承認処理を選択するための承認ボタン 1 5 0 7 と、トップメニュー画面 1 1 0 0 に戻るためのメニュー戻るボタン 1 5 0 8 とが設定されている。

【 0 0 7 5 】

ここで、依頼メール作成処理は、審議依頼者が、審議対象である審議書面の審議を依頼するための依頼メールを審議／回答者宛に作成するための処理である。原文参照処理は、アップロードされた原文ファイル（審議書面）を参照するための処理である。依頼明細参照処理は、依頼明細（依頼メール）を参照するための処理である。原文ダウンロード処理は、サーバ 2 0 0 にアップロードされた原文ファイルをインターネット 1 1 0 を介して、例えば、審議依頼者側クライアント

100₁ にダウンロードするための処理である。この原文ファイルは、審議依頼者側で審議書面の雛型として活用できる。従って、審議依頼者は、雛型に基づいて、審議書面を容易かつ短時間に作成することができる。

【0076】

審議結果確認処理は、審議依頼者が、当該審議書面の審議結果を確認するための処理である。調査者回答処理は、調査者が当該審議書面を調査した結果を回答するための処理である。承認処理は、審議依頼を承認（または却下）するための処理である。

【0077】

ステップSC5では、メイン制御部220は、依頼メール作成ボタン1501が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「N o」とする。ステップSC6では、メイン制御部220は、原文参照ボタン1502が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「N o」とする。ステップSC7では、メイン制御部220は、依頼明細参照ボタン1503が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「N o」とする。

【0078】

ステップSC8では、メイン制御部220は、原文ダウンロードボタン1504が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「N o」とする。ステップSC9では、メイン制御部220は、審議結果確認ボタン1505が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「N o」とする。

【0079】

ステップSC10では、メイン制御部220は、調査者回答ボタン1506が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「N o」とする。ステップSC11では、メイン制御部220は、承認ボタン1507が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「N o」とする。ステップSC12では、メイン制御部220は、メニュー戻るボタン1508が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「N o」とする。

【0080】

ここで、ユーザ（審議依頼者）により、依頼メール作成ボタン1501が押下

されると、メイン制御部 2 2 0 は、ステップ S C 5 の判断結果を「Y e s」として、ステップ S C 1 3 で依頼メール作成処理を実行する。具体的には、図 8 に示したステップ S D 1 では、メイン制御部 2 2 0 は、審議依頼者側クライアント 1 0 0₁ に、図 2 0 に示した依頼メール作成画面 1 6 0 0 を表示させる。

【 0 0 8 1 】

この依頼メール作成画面 1 6 0 0 は、依頼メールを作成するための画面である。この依頼メール作成画面 1 6 0 0 には、件名入力欄 1 6 0 1、本文入力欄 1 6 0 2、締め切り日選択ボタン 1 6 0 3、次画面遷移ボタン 1 6 0 4 および取り消しボタン 1 6 0 5 が設定されている。件名入力欄 1 6 0 1 は、依頼メールにおける件名を入力するための欄である。

【 0 0 8 2 】

本文入力欄 1 6 0 2 は、依頼メールにおける本文を入力するための欄である。締め切り日選択ボタン 1 6 0 3 は、書面審議結果の回答の締め切り日（回答期限）を選択するためのボタンである。次画面遷移ボタン 1 6 0 4 は、次の依頼明細作成画面 1 7 0 0（図 2 1 参照）へ遷移させるためのボタンである。取り消しボタン 1 6 0 5 は、入力内容を取り消すためのボタンである。

【 0 0 8 3 】

図 8 に戻り、ステップ S D 2 では、メイン制御部 2 2 0 は、取り消しボタン 1 6 0 5 が押下されたか否かを判断する。この判断結果が「Y e s」である場合、ステップ S D 4 では、メイン制御部 2 2 0 は、入力された内容をリセットする。この場合、ステップ S D 2 の判断結果が「N o」であるものとする。ステップ S D 3 では、メイン制御部 2 2 0 は、次画面遷移ボタン 1 6 0 4 が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「N o」とする。以後、ステップ S D 2 およびステップ S D 3 の判断が繰り返される。

【 0 0 8 4 】

そして、ユーザ（審議依頼者）は、件名入力欄 1 6 0 1 および本文入力欄 1 6 0 2 に件名および本文を入力し、かつ締め切り日選択ボタン 1 6 0 3 で締め切り日を選択した後、次画面遷移ボタン 1 6 0 4 を押下する。これにより、メイン制御部 2 2 0 は、ステップ S D 3 の判断結果を「Y e s」とする。

【0085】

ステップSD5では、メイン制御部220は、審議依頼者側クライアント100₁のディスプレイ（図示略）に、図21に示した依頼明細作成画面1700を表示させる。この依頼明細作成画面1700は、審議依頼に関する明細（制定主旨、制定概要、現状規格、注意事項）を作成するための画面である。この依頼明細作成画面1700には、制定主旨入力欄1701、制定概要入力欄1702、現状規格入力欄1703、注意事項入力欄1704、次画面遷移ボタン1705、前画面遷移ボタン1706および取り消しボタン1707が設定されている。

【0086】

制定主旨入力欄1701は、制定主旨を入力するための欄である。制定概要入力欄1702は、制定概要を入力するための欄である。現状規格入力欄1703は、現状規格を入力するための欄である。注意事項入力欄1704は、注意事項を入力するための欄である。次画面遷移ボタン1705は、次の審議依頼先選択画面1800（図22参照）へ遷移させるためのボタンである。前画面遷移ボタン1706は、前の依頼メール作成画面1600（図20参照）へ遷移させるためのボタンである。取り消しボタン1707は、入力内容を取り消すためのボタンである。

【0087】

図8に戻り、ステップSD6では、メイン制御部220は、前画面遷移ボタン1706が押下されたか否かを判断し、この判断結果が「Yes」である場合、ステップSD1で依頼メール作成画面1600（図20参照）を表示させる。この場合、ステップSD6の判断結果が「No」であるものとする、ステップSD7では、メイン制御部220は、取り消しボタン1707が押下されたか否かを判断する。

【0088】

この判断結果が「Yes」である場合、ステップSD9では、メイン制御部220は、入力された内容をリセットする。この場合、ステップSD7の判断結果が「No」であるものとする、ステップSD8では、メイン制御部220は、次画面遷移ボタン1705が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を

「No」として、ステップSD6以降の判断を繰り返す。

【0089】

そして、ユーザ（審議依頼者）は、制定主旨入力欄1701～注意事項入力欄1704のそれぞれに、制定主旨～注意事項を入力した後、次画面遷移ボタン1705を押下する。これにより、メイン制御部220は、ステップSD8の判断結果を「Yes」とする。ステップSD10では、メイン制御部220は、審議依頼者側クライアント100₁のディスプレイ（図示略）に、図22に示した審議依頼先選択画面1800を表示させる。

【0090】

この審議依頼先選択画面1800は、調査の依頼先、書面審議の依頼先を選択するための画面である。審議依頼先選択画面1800には、部門内／部門外選択ボタン1801、部門内依頼先一覧表示欄1802、前画面遷移ボタン1803、取り消しボタン1804および実行ボタン1805が設定されている。

【0091】

部門内／部門外選択ボタン1801は、依頼先として部門内または部門外を選択するためのボタンである。部門内が選択された場合には、審議依頼先選択画面1800が表示される。一方、部門外が選択された場合には、図23に示した部門外依頼先選択画面1900が表示される。

【0092】

部門内依頼先一覧表示欄1802には、部門内の依頼先の情報の一覧が表示される。この部門内依頼先一覧表示欄1802は、「役職名」、「調査者」、「承認者」および「電子メールアドレス」というフィールドを備えている。「役職名」は、依頼先の調査者または承認者（審議／回答者と同義）の役職に関する情報である。「調査者」および「承認者」は、ラジオボタンにより選択される。「電子メールアドレス」は、依頼メールの宛先である。

【0093】

前画面遷移ボタン1803は、前の依頼明細作成画面1700（図21参照）へ遷移させるためのボタンである。取り消しボタン1804は、部門内依頼先一覧表示欄1802における選択結果を取り消すためのボタンである。実行ボタン

1 8 0 5 は、部門内依頼先一覧表示欄 1 8 0 2 における選択結果に基づいて、依頼メールの送信等を実行するためのボタンである。

【 0 0 9 4 】

図 8 に戻り、ステップ S D 1 1 では、メイン制御部 2 2 0 は、ユーザ（審議依頼者）により部門内／部門外選択ボタン 1 8 0 1 で部門外が選択されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「N o」とする。ステップ S D 1 3 では、メイン制御部 2 2 0 は、前画面遷移ボタン 1 8 0 3 が押下されたか否かを判断する。この判断結果が「Y e s」である場合、メイン制御部 2 2 0 は、ステップ S D 5 以降の処理を実行する。

【 0 0 9 5 】

この場合、ステップ S D 1 3 の判断結果が「N o」であるものとする、ステップ S D 1 4 では、メイン制御部 2 2 0 は、取り消しボタン 1 8 0 4 が押下されたか否かを判断する。この判断結果が「Y e s」である場合、ステップ S D 1 6 では、メイン制御部 2 2 0 は、部門内依頼先一覧表示欄 1 8 0 2 における選択結果をリセットする。この場合、ステップ S D 1 4 の判断結果が「N o」であるものとする。

【 0 0 9 6 】

ステップ S D 1 5 では、メイン制御部 2 2 0 は、実行ボタン 1 8 0 5 が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「N o」として、ステップ S D 1 3 以降の判断を繰り返す。そして、ユーザは、部門内依頼先一覧表示欄 1 8 0 2 から、依頼先を選択しかつ調査、承認を選択する。つぎに、ユーザは、実行ボタン 1 8 0 5 を押下する。これにより、メイン制御部 2 2 0 は、ステップ S D 1 5 の判断結果を「Y e s」とする。

【 0 0 9 7 】

ステップ S D 1 7 では、メイン制御部 2 2 0 は、依頼メールに関する情報（規格番号、依頼日時、版数、件名、本文、締め切り日、依頼明細、依頼先等）を、フレーズ毎に XML タグを付けて XML 化する。ステップ S D 1 8 では、メイン制御部 2 2 0 は、XML 化された上記情報を XML データベース 4 0 0 に格納する。

【0098】

ステップSD19では、メイン制御部220は、メール制御部230に指示を出して、図22に示した審議依頼先選択画面1800で選択された調査者の電子メールアドレスへ上記依頼メールを送信させる。これにより、当該調査者は、上記依頼メールにより、当該審議書面の調査を依頼されたことを認識する。

【0099】

そして、調査者は、調査者側クライアント130を操作して、サーバ200にアクセスする。以後、前述した動作を経て、調査者は、図19に示した審議依頼メニュー画面1500の原文参照ボタン1502を押下する。これにより、メイン制御部220は、図7に示したステップSC6の判断結果を「Yes」として、ステップSC14で原文参照処理を実行する。この原文参照処理では、調査者は、規格番号をキーとして調査依頼があった原文（審議書面）を参照し、調査を行う。なお、原文参照処理の詳細については、後述するステップSG16（図11参照）で説明する。

【0100】

つぎに、調査者は、調査結果を回答すべく、図19に示した調査者回答ボタン1506を押下する。これにより、メイン制御部220は、図7に示したステップSC10の判断結果を「Yes」とする。ステップSC18では、メイン制御部220は、調査者回答処理を実行する。具体的には、図9に示したステップSE1では、メイン制御部220は、調査者側クライアント130のディスプレイ（図示略）に、図24に示した調査者回答画面2000を表示させる。

【0101】

この調査者回答画面2000は、調査者の調査結果（変更無し、または変更有り）を回答するための画面である。調査者回答画面2000には、調査結果が変更無しである場合に選択される変更無しラジオボタン2001と、調査結果が変更有りである場合に選択される変更ラジオボタン2002と、上記選択に基づいて回答の処理を実行するための実行ボタン2003と、取り消しボタン2004と、変更内容を入力するための変更内容入力ボタン2005とが設定されている。

【0102】

図9に戻り、ステップSE2では、メイン制御部220は、取り消しボタン2004が押下されたか否かを判断する。この判断結果が「Yes」である場合、ステップSE8では、メイン制御部220は、変更無しラジオボタン2001または変更ラジオボタン2002による選択結果をリセットする。この場合、ステップSE2の判断結果が「No」であるものとする。

【0103】

ステップSE3では、メイン制御部220は、変更ラジオボタン2002がチェックされているか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。ステップSE4では、メイン制御部220は、実行ボタン2003が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」として、ステップSE2以降の判断を繰り返す。

【0104】

ここで、調査結果が変更無しである場合、すなわち、審議書面に変更が無い場合には、調査者は、変更無しラジオボタン2001をチェックした後、実行ボタン2003を押下する。これにより、メイン制御部220は、ステップSE4の判断結果を「Yes」とする。

【0105】

ステップSE5では、メイン制御部220は、調査結果、原文等を、フレーズ毎にXMLタグを付けてXML化する。ステップSE6では、メイン制御部220は、XML化された情報をXMLデータベース400に格納する。ステップSE7では、メイン制御部220は、メール制御部230に指示を出して、調査結果をメールにて、例えば、審議/回答者側クライアント120₁へ送信する。

【0106】

一方、ステップSE3の判断結果が「Yes」である場合、すなわち、調査対象の審議書面に変更点がある場合、ステップSE9では、メイン制御部220は、図24に示した変更内容入力ボタン2005が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」としてステップSE2以降の判断を行う。

【0107】

ここで、調査者により変更内容入力ボタン2005が押下されると、メイン制御部220は、ステップSE9の判断結果を「Yes」とする。ステップSE10では、メイン制御部220は、調査者側クライアント130のディスプレイ（図示略）に、図25に示した変更内容入力画面2100を表示させる。

【0108】

この変更内容入力画面2100は、変更内容を入力するための画面である。変更内容入力画面2100には、審議書面における変更ページを選択するための変更ページ選択ボタン2101と、変更箇所を入力するための変更箇所入力欄2102と、変更前の原文を入力するための原文入力欄2103と、上記原文に対応させて変更内容を入力するための変更内容入力欄2104と、前画面遷移ボタン2105と、実行ボタン2106と、次変更内容入力ボタン2107と、取り消しボタン2108とが設定されている。

【0109】

図9に戻り、ステップSE11では、メイン制御部220は、取り消しボタン2108が押下されたか否かを判断する。この判断結果が「Yes」である場合、ステップSE15では、メイン制御部220は、入力内容をリセットする。一方、ステップSE11の判断結果が「No」である場合、ステップSE12では、メイン制御部220は、前画面遷移ボタン2105が押下されたか否かを判断する。この判断結果が「Yes」である場合、ステップSE1では、メイン制御部220は、調査者回答画面2000（図24参照）を表示させる。

【0110】

この場合、ステップSE12の判断結果が「No」であるものとする、ステップSE13では、メイン制御部220は、次変更内容入力ボタン2107が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。ステップSE14では、メイン制御部220は、実行ボタン2106が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」として、ステップSE11以降の判断を繰り返す。

【0111】

そして、調査者は、変更ページ選択ボタン2101で変更ページを選択し、変

更箇所入力欄 2102 に変更箇所を入力する。つぎに、調査者は、原文入力欄 2103 および変更内容入力欄 2104 に原文および変更内容を入力した後、さらに変更すべき箇所がある場合、次変更内容入力ボタン 2107 を押下する。これにより、ステップ SE16 では、メイン制御部 220 は、調査者側クライアント 130 のディスプレイ（図示略）に、図示しない変更内容入力画面を表示させる。これにより、調査者は、つぎの変更内容を入力する。

【0112】

図 25 に示した実行ボタン 2106 が押下されると、メイン制御部 220 は、ステップ SE14 の判断結果を「Yes」とする。ステップ SE5 では、メイン制御部 220 は、調査結果、変更ページ、変更箇所、原文、変更内容等を、フレーム毎に XML タグを付けて XML 化する。

【0113】

ステップ SE6 では、メイン制御部 220 は、XML 化された情報を XML データベース 400 に格納する。ステップ SE7 では、メイン制御部 220 は、メール制御部 230 に指示を出して、調査結果、変更ページ、変更箇所、原文、変更内容等の情報をメールにて、例えば、審議依頼者側クライアント 100₁ へ送信する。これにより、審議依頼者は、当該審議書面に変更をかける。

【0114】

つぎに、図 19 に示した承認ボタン 1507 が押下されると、メイン制御部 220 は、図 7 に示したステップ SC11 の判断結果を「Yes」とする。ステップ SC19 では、メイン制御部 220 は、審議依頼に関する承認処理を実行する。具体的には、図 10 に示したステップ SF1 では、メイン制御部 220 は、審議依頼者側クライアント 100₁ のディスプレイ（図示略）に、図 26 に示した承認／却下画面 2200 を表示させる。

【0115】

審議依頼の場合、承認／却下画面 2200 は、審議依頼に関して承認するか却下するかを選択させるための画面である。承認／却下画面 2200 には、当該審議書面にかかる「規格番号」および「規格名称」が表示されているとともに、承認ボタン 2201、却下ボタン 2202 および取り消しボタン 2203 が設けら

れている。

【 0 1 1 6 】

図 1 0 に戻り、ステップ S F 2 では、メイン制御部 2 2 0 は、承認ボタン 2 2 0 1 が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「N o」とする。ステップ S F 3 では、メイン制御部 2 2 0 は、却下ボタン 2 2 0 2 が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「N o」とする。ステップ S F 4 では、メイン制御部 2 2 0 は、取り消しボタン 2 2 0 3 が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「N o」とする。以後、メイン制御部 2 2 0 は、ステップ S F 2 以降の判断を繰り返す。

【 0 1 1 7 】

ここで、審議依頼を承認する場合には、承認ボタン 2 2 0 1 が押下される。これにより、メイン制御部 2 2 0 は、ステップ S F 2 の判断結果を「Y e s」とする。ステップ S F 5 では、メイン制御部 2 2 0 は、承認された旨の情報、書面審議対象を特定するための規格番号、規格名称等の情報を、フレーズ毎に XML タグを付けて XML 化する。ステップ S F 6 では、メイン制御部 2 2 0 は、XML 化された情報を XML データベース 4 0 0 に格納する。ステップ S F 7 では、メイン制御部 2 2 0 は、メール制御部 2 3 0 に指示を出して、上記情報を審議依頼・承認メールとして、例えば、審議／回答者側クライアント 1 2 0₁ ヘインターネット 1 1 0 を介して送信させる。これにより、審議／回答者は、書面審議が依頼されたことを認識する。

【 0 1 1 8 】

一方、当該審議依頼を却下する場合、却下ボタン 2 2 0 2 が押下される。これにより、メイン制御部 2 2 0 は、ステップ S F 3 の判断結果を「Y e s」とする。ステップ S F 5 では、メイン制御部 2 2 0 は、審議依頼が却下された旨、却下対象を特定するための規格番号、規格名称等の情報を、フレーズ毎に XML タグを付けて XML 化する。

【 0 1 1 9 】

ステップ S F 6 では、メイン制御部 2 2 0 は、XML 化された情報を XML データベース 4 0 0 に格納する。ステップ S F 7 では、メイン制御部 2 2 0 は、メ

ール制御部 2 3 0 に指示を出して、上記情報を審議依頼・却下メールとして、審議依頼者側クライアント 1 0 0₁ および調査者側クライアント 1 3 0 ヘインターネット 1 1 0 を介して送信させる。これにより、当該審議依頼者および調査者は、当該審議依頼が却下されたことを認識する。また、審議依頼者は、審議書面の修正を行い、審議依頼のやり直しを行う。

【 0 1 2 0 】

また、図 2 2 に示した部門内／部門外選択ボタン 1 8 0 1 で部門外が選択された場合には、メイン制御部 2 2 0 は、図 8 に示したステップ S D 1 1 の判断結果を「Y e s」とする。ステップ S D 1 2 では、メイン制御部 2 2 0 は、審議依頼者側クライアント 1 0 0₁ のディスプレイ（図示略）に、図 2 3 に示した部門外依頼先選択画面 1 9 0 0 を表示させる。

【 0 1 2 1 】

この部門外依頼先選択画面 1 9 0 0 は、部門外における調査の依頼先または書面審議の依頼先を選択するための画面である。部門外依頼先選択画面 1 9 0 0 には、部門内／部門外選択ボタン 1 9 0 1、部門外依頼先一覧表示欄 1 9 0 2、前画面遷移ボタン 1 9 0 3、取り消しボタン 1 9 0 4 および実行ボタン 1 9 0 5 が設定されている。

【 0 1 2 2 】

部門内／部門外選択ボタン 1 9 0 1 は、依頼先として部門内または部門外を選択するためのボタンである。この場合、部門外が選択されているため、部門内／部門外選択ボタン 1 9 0 1 には、「部門外」が表示されている。部門外依頼先一覧表示欄 1 9 0 2 には、部門外の依頼先の情報の一覧が表示される。

【 0 1 2 3 】

この部門外依頼先一覧表示欄 1 9 0 2 は、「会社名」、「事業部／統括部」、「担当部門」および「電子メールアドレス」というフィールドを備えている。これらの「会社名」、「事業部／統括部」、「担当部門」は、書面審議の依頼先に関する情報であり、「電子メールアドレス」は、依頼メールの宛先である。

【 0 1 2 4 】

また、ユーザにより、図 2 2 に示した部門内依頼先一覧表示欄 1 8 0 2 から、

依頼先を選択しかつ調査が選択された後、実行ボタン 1 8 0 5 が押下されると、メイン制御部 2 2 0 は、ステップ S D 1 5 の判断結果を「Y e s」とする。

【 0 1 2 5 】

ステップ S D 1 7 では、メイン制御部 2 2 0 は、依頼メールに関する情報（規格番号、依頼日時、版数、件名、本文、締め切り日、依頼明細、依頼先等）を、フレーズ毎に XML タグを付けて XML 化する。ステップ S D 1 8 では、メイン制御部 2 2 0 は、XML 化された上記情報を XML データベース 4 0 0 に格納する。ステップ S D 1 9 では、メイン制御部 2 2 0 は、メール制御部 2 3 0 に指示を出して、上記依頼メールを依頼先（例えば、調査者側クライアント 1 3 0 に対応する電子メールアドレス）へ送信させる。これにより、当該調査者は、上記依頼メールにより、当該審議書面の調査を依頼されたことを認識し、前述した調査結果を回答する。

【 0 1 2 6 】

つぎに、審議／回答者が審議依頼を受託する場合について説明する。審議依頼を受託する場合、審議／回答者は、例えば、審議／回答者側クライアント 1 2 0₁ を操作して、サーバ 2 0 0 にアクセスする。以後、前述した、ユーザ認証等の動作を経て、審議／回答者は、図 1 5 に示した審議受託ボタン 1 1 0 3 を押下する。これにより、メイン制御部 2 2 0 は、図 5 に示したステップ S A 8 の判断結果を「Y e s」とする。ステップ S A 1 3 では、審議受託処理が実行される。

【 0 1 2 7 】

具体的には、図 1 1 に示したステップ S G 1 では、XML データベース 4 0 0 を検索する処理を実行する。すなわち、まず、メイン制御部 2 2 0 は、当該審議／回答者のユーザ I D 等をキーとして、図 2（a）に示したユーザ情報メタ情報 3 1 0 を参照し、当該審議／回答者が所属する部門コードを特定する。つぎに、上記部門コードおよび部門情報メタ情報 3 5 0（図 3（a）参照）から、審議／回答者が所属する部門名を特定する。

【 0 1 2 8 】

つぎに、メイン制御部 2 2 0 は、上記部門名をキーとして、XML データベース 4 0 0 から、当該部門宛に審議依頼されている審議書面の情報を取得し、この

情報から当該審議書面に対応する規格番号および規格名称を取得する。ステップ SG2 では、メイン制御部 220 は、審議依頼が有るか否かを判断し、この判断結果が「No」である場合、ステップ SG6 で、エラーメッセージ画面を表示させる。

【0129】

一方、ステップ SG2 の判断結果が「Yes」である場合、ステップ SG3 では、メイン制御部 220 は、審議／回答者側クライアント 120₁ のディスプレイ（図示略）に、図 27 に示した規格選択画面 2300 を表示させる。この規格選択画面 2300 は、ステップ SG1 で検索された結果、すなわち、審議依頼者から当該部門に対して審議依頼された規格（審議書面）の一覧から、審議すべきものを選択するための画面である。

【0130】

この規格選択画面 2300 には、上記規格（審議書面）の一覧を表示する規格一覧表示欄 2301 と、実行ボタン 2302 と、メニュー戻るボタン 2303 とが設定されている。規格一覧表示欄 2301 には、「規格番号／版数」、「規格名称」、「依頼先」および「回答状況」というフィールドが備えられている。

【0131】

図 11 に戻り、ステップ SG4 では、メイン制御部 220 は、実行ボタン 2302 が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。ステップ SG5 では、メイン制御部 220 は、メニュー戻るボタン 2303 が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」として、ステップ SG4 以降の判断を繰り返す。

【0132】

そして、審議／回答者は、図 27 に示した規格一覧表示欄 2301 から審議対象（例えば、1 レコード目）を選択した後、実行ボタン 2302 を押下する。これにより、メイン制御部 220 は、ステップ SG4 の判断結果を「Yes」とする。ステップ SG7 では、メイン制御部 220 は、審議／回答者側クライアント 120₁ のディスプレイ（図示略）に、図 28 に示した審議受託メニュー画面 2400 を表示させる。

【 0 1 3 3 】

この審議受託メニュー画面 2 4 0 0 は、審議結果回答処理、原文参照処理、依頼明細参照処理、原文ダウンロード処理、審議結果確認処理、承認処理またはメニュー画面へ戻る処理のうちいずれかの処理を選択するための画面である。また、審議受託メニュー画面 2 4 0 0 には、審議結果回答処理を選択するための審議結果回答ボタン 2 4 0 1 が設定されている。

【 0 1 3 4 】

さらに、審議受託メニュー画面 2 4 0 0 には、原文参照処理を選択するための原文参照ボタン 2 4 0 2 と、依頼明細参照処理を選択するための依頼明細参照ボタン 2 4 0 3 と、原文ダウンロード処理を選択するための原文ダウンロードボタン 2 4 0 4 と、審議結果確認処理を選択するための審議結果確認ボタン 2 4 0 5 と、トップメニュー画面 1 1 0 0 に戻るためのメニュー戻るボタン 2 4 0 7 とが設定されている。

【 0 1 3 5 】

ここで、審議結果回答処理は、審議／回答者が、審議依頼者から依頼された審議書面を審議した結果を回答するための処理である。原文参照処理は、アップロードされた原文ファイル（審議書面）を参照するための処理である。依頼明細参照処理は、依頼明細（依頼メール）を参照するための処理である。

【 0 1 3 6 】

原文ダウンロード処理は、サーバ 2 0 0 にアップロードされた原文ファイルをインターネット 1 1 0 を介して、例えば、審議／回答者側クライアント 1 2 0₁ にダウンロードするための処理である。審議結果確認処理は、審議依頼者が、当該審議書面の審議結果を確認するための処理である。承認処理は、審議受託を承認（または却下）するための処理である。

【 0 1 3 7 】

図 1 1 に戻り、ステップ S G 8 では、メイン制御部 2 2 0 は、審議結果回答ボタン 2 4 0 1 が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「N o」とする。ステップ S G 9 では、メイン制御部 2 2 0 は、原文参照ボタン 2 4 0 2 が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「N o」とする。ステップ S G

10では、メイン制御部220は、依頼明細参照ボタン2403が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。

【0138】

ステップSG11では、メイン制御部220は、原文ダウンロードボタン2404が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。ステップSG12では、メイン制御部220は、審議結果確認ボタン2405が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。

【0139】

ステップSG13では、メイン制御部220は、承認ボタン2406が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。ステップSG14では、メイン制御部220は、メニュー戻るボタン2407が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。以後、メイン制御部220は、ステップSG8～ステップSG14までの判断を繰り返す。

【0140】

そして、審議／回答者により、図28に示した依頼明細参照ボタン2403が押下されると、メイン制御部220は、図11に示したステップSG10の判断結果を「Yes」とする。ステップSG17では、メイン制御部220は、依頼明細参照処理を実行する。

【0141】

具体的には、メイン制御部220は、図27に示した規格選択画面2300で選択された1レコード目の規格番号をキーとして、XMLデータベース400から、上記規格番号に対応しかつ審議依頼された依頼明細の情報を取得する。ここで、メイン制御部220は、部門情報メタ情報350（図3（a）参照）を参照して審議／回答者が属する部門の権限の付与状況を確認し、XMLデータベース400から取得された依頼明細に対応する審議書面の規格重要度とのマッチングを行う。

【0142】

つぎに、メイン制御部220は、当該審議書面に関する依頼明細の参照の可否を判断し、可である場合にのみ以下の処理を実行する。参照可である場合、メイ

ン制御部220は、審議／回答者側クライアント120₁のディスプレイ（図示略）に図29に示した依頼明細参照画面2500を表示させる。なお、参照不可である場合には、審議／回答者は、依頼明細を参照することができない。

【0143】

上記依頼明細参照画面2500は、XMLデータベース400から取得された依頼明細の情報を表示するための画面である。依頼明細参照画面2500には、依頼明細を表示する依頼明細表示欄2501と、閉じるボタン2502とが設定されている。この依頼明細は、図21に示した依頼明細作成画面1700で審議依頼者により作成されたものである。

【0144】

そして、審議／回答者は、依頼明細参照画面2500より、審議依頼の明細（規格番号、…、回答締め切り年月日、制定主旨、…、注意事項）を把握する。なお、図7に示したステップSC15においても、ステップSG17と同様にして、審議依頼者（または調査者）による依頼明細参照が行われる。

【0145】

つぎに、審議／回答者は、実際の審議書類としての原文を参照すべく、図28に示した原文参照ボタン2402を押下する。これにより、メイン制御部220は、図11に示したステップSG9の判断結果を「Yes」とする。ステップSG16では、メイン制御部220は、原文参照処理を実行する。具体的には、図27に示した規格選択画面2300で選択された1レコード目の規格番号をキーとして、XMLデータベース400から、上記規格番号に対応する原文ファイル（審議書面）を取得する。

【0146】

ここで、メイン制御部220は、部門情報メタ情報350（図3（a）参照）を参照して審議／回答者が属する部門の権限の付与状況を確認し、XMLデータベース400から取得された原文ファイルに対応する審議書面の規格重要度とのマッチングを行う。

【0147】

つぎに、メイン制御部220は、当該審議書面に関する原文ファイル参照の可

否を判断し、可である場合にのみ以下の処理を実行する。参照可である場合、メイン制御部220は、審議／回答者側クライアント120₁のディスプレイ（図示略）に図30に示した原文参照画面2600を表示させる。

【0148】

これにより、審議／回答者は、原文参照画面2600から審議対象である審議書面の内容を把握し、審議を開始する。なお、参照不可である場合には、審議／回答者は、原文ファイルを参照することができない。ここで、図7に示したステップSC14においても、ステップSG16と同様にして、審議依頼者（または調査者）による原文参照が行われる。

【0149】

また、審議／回答者は、実際の審議書類としての原文ファイルをダウンロードすべく、図28に示した原文ダウンロードボタン2404を押下する。これにより、メイン制御部220は、図11に示したステップSG11の判断結果を「Yes」とする。ステップSG18では、メイン制御部220は、原文ダウンロード処理を実行する。具体的には、図27に示した規格選択画面2300で選択された1レコード目の規格番号をキーとして、XMLデータベース400から、上記規格番号に対応する原文ファイル（審議書面）を取得する。

【0150】

ここで、メイン制御部220は、部門情報メタ情報350（図3（a）参照）を参照して審議／回答者が属する部門の権限の付与状況を確認し、XMLデータベース400から取得された原文ファイルに対応する審議書面の規格重要度とのマッチングを行う。

【0151】

つぎに、メイン制御部220は、当該審議書面に関する原文ファイルのダウンロードの可否を判断し、可である場合にのみ以下の処理を実行する。ダウンロード可である場合、メイン制御部220は、審議／回答者側クライアント120₁のディスプレイ（図示略）に、図31に示した原文ダウンロード画面2700を表示させる。

【0152】

この原文ダウンロード画面2700は、XMLデータベース400に格納された原文ファイルを、審議／回答者側クライアント120₁にダウンロードするための画面である。原文ダウンロード画面2700には、原文ファイルの格納先にリンクする原文ファイルリンクボタン2701と、閉じるボタン2702とが設定されている。

【0153】

ここで、審議／回答者により、原文ファイルリンクボタン2701が押下されると、メイン制御部220は、当該原文ファイルを審議／回答者側クライアント120₁にダウンロードさせる。これにより、審議／回答者側クライアント120₁では、ダウンロードされた原文ファイルが開かれることにより、審議対象である審議書面の内容を把握し、審議を開始する。

【0154】

ここで、ダウンロード不可である場合には、審議／回答者は、原文ファイルをダウンロードすることができない。なお、図7に示したステップSC16においても、ステップSG18と同様にして、審議依頼者（または調査者）により、原文ファイルのダウンロードが実行される。

【0155】

つぎに、審議／回答者は、審議依頼された審議書面に関する審議結果を回答すべく、図28に示した審議結果回答ボタン2401を押下する。これにより、メイン制御部220は、図11に示したステップSG8の判断結果を「Yes」とする。ステップSG15では、メイン制御部220は、審議結果回答処理を実行する。具体的には、図12に示したステップSH1では、メイン制御部220は、審議／回答者側クライアント120₁のディスプレイ（図示略）に、図32に示した審議結果回答画面2800を表示させる。

【0156】

この審議結果回答画面2800は、審議結果（変更無し、または変更有り）を回答するための画面である。審議結果回答画面2800には、審議結果が変更無しである場合に選択される変更無しラジオボタン2801と、審議結果が変更有りである場合に選択される変更ラジオボタン2802と、上記選択に基づいて回

答の処理を実行するための実行ボタン2803と、取り消しボタン2804と、変更内容を入力するための変更内容入力ボタン2805とが設定されている。

【0157】

図12に戻り、ステップSH2では、メイン制御部220は、取り消しボタン2804が押下されたか否かを判断する。この判断結果が「Yes」である場合、ステップSH7では、メイン制御部220は、変更無しラジオボタン2801または変更ラジオボタン2802による選択結果をリセットする。この場合、ステップSH2の判断結果が「No」であるものとする。

【0158】

ステップSH3では、メイン制御部220は、変更ラジオボタン2802がチェックされているか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。ステップSH4では、メイン制御部220は、実行ボタン2803が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」として、ステップSH2以降の判断を繰り返す。

【0159】

ここで、審議結果が変更無しである場合、すなわち、審議書面に変更が無い場合には、審議／回答者は、変更無しラジオボタン2801をチェックした後、実行ボタン2803を押下する。これにより、メイン制御部220は、ステップSH4の判断結果を「Yes」とする。ステップSH5では、メイン制御部220は、審議結果、原文等を、フレーズ毎にXMLタグを付けてXML化する。ステップSH6では、メイン制御部220は、XML化された情報をXMLデータベース400に格納する。

【0160】

一方、ステップSH3の判断結果が「Yes」である場合、すなわち、調査対象の審議書面に変更点がある場合、ステップSH8では、メイン制御部220は、図32に示した変更内容入力ボタン2805が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」としてステップSH2以降の判断を行う。

【0161】

ここで、調査者により変更内容入力ボタン2805が押下されると、メイン制

御部 2 2 0 は、ステップ S H 8 の判断結果を「Y e s」とする。ステップ S H 9 では、メイン制御部 2 2 0 は、審議／回答者側クライアント 1 2 0₁ のディスプレイ（図示略）に、図 2 5 に示した変更内容入力画面 2 1 0 0 を表示させる。

【 0 1 6 2 】

この変更内容入力画面 2 1 0 0 は、変更内容を入力するための画面である。変更内容入力画面 2 1 0 0 には、審議書面における変更ページを選択するための変更ページ選択ボタン 2 1 0 1 と、変更箇所を入力するための変更箇所入力欄 2 1 0 2 と、変更前の原文を入力するための原文入力欄 2 1 0 3 と、上記原文に対応させて変更内容を入力するための変更内容入力欄 2 1 0 4 と、前画面遷移ボタン 2 1 0 5 と、実行ボタン 2 1 0 6 と、次変更内容入力ボタン 2 1 0 7 と、取り消しボタン 2 1 0 8 とが設定されている。

【 0 1 6 3 】

図 1 2 に戻り、ステップ S H 1 0 では、メイン制御部 2 2 0 は、取り消しボタン 2 1 0 8 が押下されたか否かを判断する。この判断結果が「Y e s」である場合、ステップ S H 1 4 では、入力内容をリセットする。また、ステップ S H 1 0 の判断結果が「N o」であるものとする、ステップ S H 1 1 では、メイン制御部 2 2 0 は、前画面遷移ボタン 2 1 0 5 が押下されたか否かを判断し、この判断結果が「Y e s」である場合、ステップ S H 1 で審議結果回答画面 2 8 0 0（図 3 2 参照）を表示させる。

【 0 1 6 4 】

この場合、ステップ S H 1 1 の判断結果が「N o」であるものとする、ステップ S H 1 2 では、メイン制御部 2 2 0 は、次変更内容入力ボタン 2 1 0 7 が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「N o」とする。ステップ S H 1 3 では、メイン制御部 2 2 0 は、実行ボタン 2 1 0 6 が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「N o」として、ステップ S H 1 0 以降の判断を繰り返す。

【 0 1 6 5 】

そして、審議／回答者は、原文入力欄 2 1 0 3 および変更内容入力欄 2 1 0 4 に原文および変更内容を入力した後、さらに変更すべき箇所がある場合、次変更

内容入力ボタン2107を押下する。これにより、メイン制御部220は、ステップSH12の判断結果を「Yes」とする。ステップSH15では、メイン制御部220は、審議／回答者側クライアント120₁のディスプレイ（図示略）に、図示しない変更内容入力画面を表示させる。これにより、審議／回答者は、つぎの変更内容を入力する。

【0166】

図25に示した実行ボタン2106が押下されると、メイン制御部220は、ステップSH13の判断結果を「Yes」とする。ステップSH5では、メイン制御部220は、審議結果、変更ページ、変更箇所、原文、変更内容等を、フレーズ毎にXMLタグを付けてXML化する。ステップSH6では、メイン制御部220は、XML化された情報をXMLデータベース400に格納する。

【0167】

つぎに、図28に示した承認ボタン2406が押下されると、メイン制御部220は、図11に示したステップSG13の判断結果を「Yes」とする。ステップSG20では、メイン制御部220は、審議受託に関する承認処理を実行する。具体的には、図10に示したステップSF1では、メイン制御部220は、審議／回答者側クライアント120₁のディスプレイ（図示略）に、図26に示した承認／却下画面2200を表示させる。

【0168】

審議受託の場合、承認／却下画面2200は、審議受託に関して承認するか却下するかを選択させるための画面である。図10に戻り、メイン制御部220は、前述した動作と同様にして、ステップSF2以降の判断を繰り返す。

【0169】

ここで、審議受託を承認する場合には、承認ボタン2201が押下される。これにより、メイン制御部220は、ステップSF2の判断結果を「Yes」とする。ステップSF5では、メイン制御部220は、承認された旨の情報、書面審議対象を特定するための規格番号、規格名称等の情報を、フレーズ毎にXMLタグを付けてXML化する。ステップSF6では、メイン制御部220は、XML化された当該情報をXMLデータベース400に格納する。

【0170】

ステップSF7では、メイン制御部220は、XML化された上記情報をXMLデータベース400に格納する。ステップSF7では、メイン制御部220は、メール制御部230に指示を出して、上記情報を審議受託・承認メールとして、例えば、審議依頼元の審議依頼者側クライアント100₁へインターネット110を介して送信させる。これにより、審議依頼者は、書面審議の依頼が承認されたことを認識する。

【0171】

一方、当該審議受託を却下する場合、却下ボタン2202が押下される。これにより、メイン制御部220は、ステップSF3の判断結果を「Yes」とする。ステップSF5では、メイン制御部220は、審議受託が却下された旨、却下対象を特定するための規格番号、規格名称等の情報を、フレーズ毎にXMLタグを付けてXML化する。ステップSF6では、メイン制御部220は、XML化された当該情報をXMLデータベース400に格納する。

【0172】

ステップSF7では、メイン制御部220は、XML化された上記情報をXMLデータベース400に格納する。ステップSF7では、メイン制御部220は、メール制御部230に指示を出して、上記情報を審議受託・却下メールとして、審議／回答者側クライアント120₁へインターネット110を介して送信させる。これにより、当該審議／回答者は、審議結果の回答が却下されたことを認識する。また、審議／回答者は、審議／回答のやり直しを行う。

【0173】

また、審議／回答者により、図28に示した審議結果確認ボタン2405が押下されると、メイン制御部220は、図11に示したステップSG12の判断結果を「Yes」とする。ステップSG19では、メイン制御部220は、審議結果確認処理を実行する。

【0174】

具体的には、メイン制御部220は、当該審議／回答者が所属する部門をキーとして、XMLデータベース400から、審議結果に関する情報および未回答一

覧情報を取得する。ここで、メイン制御部220は、部門情報メタ情報350（図3（a）参照）を参照して審議／回答者が属する部門の権限の付与状況を確認し、XMLデータベース400から取得された審議結果に対応する審議書面の規格重要度とのマッチングを行う。

【0175】

つぎに、メイン制御部220は、当該審議書面に関する審議結果の確認の可否を判断し、可である場合にのみ以下の処理を実行する。確認可である場合、メイン制御部220は、審議／回答者側クライアント120₁のディスプレイ（図示略）に図33に示した審議結果参照画面2900を表示させる。なお、確認不可である場合には、審議／回答者は、審議結果を参照することができない。

【0176】

上記審議結果参照画面2900は、XMLデータベース400から取得された審議結果一覧および未回答一覧の情報を表示するための画面である。審議結果参照画面2900には、審議結果一覧を表示する審議結果一覧表示欄2901と、未回答一覧を表示する未回答一覧表示欄2902と、閉じるボタン2903とが設定されている。なお、図7に示したステップSC17においても、ステップSG19と同様にして、審議依頼者（または調査者）による審議結果確認が行われる。

【0177】

つぎに、前述した書面審議システムのユーザ情報を管理する場合について説明する。システム管理者等により、図15に示したシステム管理ボタン1104が押下されると、メイン制御部220は、図5に示したステップSA9の判断結果を「Yes」とする。ステップSA14では、メイン制御部220は、システム管理処理を実行する。

【0178】

具体的には、図13に示したステップSI1では、メイン制御部220は、図34に示したシステム管理画面3000を表示させる。このシステム管理画面3000は、管理メニュー（登録、変更、削除）を選択するための画面である。システム管理画面3000は、ユーザを登録するためのユーザ登録ボタン3001

と、ユーザ情報を変更するためのユーザ情報変更ボタン3002と、ユーザを削除するためのユーザ削除ボタン3003とが設定されている。

【0179】

図13に戻り、ステップS I 2では、メイン制御部220は、ユーザ登録ボタン3001が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。ステップS I 3では、メイン制御部220は、ユーザ情報変更ボタン3002が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。ステップS I 4では、メイン制御部220は、ユーザ削除ボタン3003が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。以後、メイン制御部220は、ステップS I 2～ステップS I 4までの判断を繰り返す。

【0180】

ここで、ユーザ登録ボタン3001が押下されると、メイン制御部220は、ステップS I 2の判断結果を「Yes」とする。ステップS I 5では、メイン制御部220は、図35に示したユーザ登録画面3100を表示させる。このユーザ登録画面3100は、図2(a)に示したユーザ情報メタ情報310に対応するユーザ情報を登録するための画面である。このユーザ登録画面3100には、ユーザ情報（ユーザ名称、…、依頼順位）を入力するためのユーザ情報入力欄3101と、ユーザ登録を実行するための実行ボタン3102と、取り消しボタン3103とが設定されている。

【0181】

図13に戻り、ステップS I 6では、メイン制御部220は、実行ボタン3102が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。ステップS I 7では、メイン制御部220は、取り消しボタン3103が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。以後、メイン制御部220は、ステップS I 6以降の判断を繰り返す。

【0182】

そして、システム管理者により、ユーザ情報入力欄3101にユーザ情報が入力された後、実行ボタン3102が押下されると、メイン制御部220は、ステップS I 6の判断結果を「Yes」とする。ステップS I 8では、メイン制御部

220は、データベース300におけるユーザ情報メタ情報310（図2（a）参照）に上記ユーザ情報をセットする。

【0183】

また、図35に示した取り消しボタン3103が押下されると、メイン制御部220は、ステップS I 7の判断結果を「Y e s」とする。ステップS I 9では、メイン制御部220は、ユーザ情報入力欄3101に入力されたユーザ情報をリセットする。

【0184】

また、図34に示したユーザ情報変更ボタン3002が押下されると、メイン制御部220は、図13に示したステップS I 3の判断結果を「Y e s」とする。ステップS I 10では、メイン制御部220は、ユーザ情報メタ情報310に既にセットされたユーザ情報を変更するためのユーザ情報変更画面（図示略）を表示させる。これにより、システム管理者は、上記ユーザ情報変更画面より、ユーザ情報を変更した後、実行ボタン（図示略）を押下する。メイン制御部220は、ユーザ情報メタ情報310に変更内容を反映させる。

【0185】

また、図34に示したユーザ削除ボタン3003が押下されると、メイン制御部220は、図13に示したステップS I 4の判断結果を「Y e s」とする。ステップS I 11では、メイン制御部220は、ユーザ情報メタ情報310に既にセットされたユーザ情報を削除するためのユーザ情報削除画面（図示略）を表示させる。これにより、システム管理者は、上記ユーザ情報削除画面より、ユーザ情報を削除した後、実行ボタン（図示略）を押下する。メイン制御部220は、ユーザ情報メタ情報310から当該ユーザ情報を削除する。

【0186】

また、一実施の形態では、未回収の審議結果について審議／回答者に督促メールにて自動的に督促が行われる。具体的には、メイン制御部220は、審議結果の回答の締め切り期限（図20参照）に基づいて、審議結果の回収状況を監視し、締め切り期限の3日前、締め切り期限の当日、期限週間後等に、審議／回答者のクライアントへ審議結果の督促に関する督促メールを自動送信する。

【 0 1 8 7 】

以上説明したように、一実施の形態によれば、図 2 2 および図 2 3 に示したように審議／回答者の属性情報に基づいて審議依頼者に審議／回答者を選択させ、この選択された審議／回答者にインターネット 1 1 0 を介して審議書面の審議を依頼するようにしたので、従来のように紙ベースで依頼を行う場合に比して、書面審議にかかる労力、コストを低減することができる。

【 0 1 8 8 】

また、一実施の形態によれば、審議／回答者により審議された審議書面の審議結果を回収し、図 3 3 に示したように、回収された審議結果を審議依頼者に閲覧させるようにしたので、審議依頼者にとって審議結果を容易に把握することができる。

【 0 1 8 9 】

また、一実施の形態によれば、審議／回答者の属性情報に対応付けて審議書面の重要度を設定し、重要度に応じて閲覧の許可／禁止を制御するようにしたので、機密情報の漏洩を防止することができ、セキュリティを高めることができる。

【 0 1 9 0 】

また、一実施の形態によれば、審議結果の回収状況をチェックし、予め設定された回収期限の前後に、当該審議／回答者に対して審議を督促するようにしたので、審議依頼者が電話等で督促を行う必要がなくなり、審議依頼者の労力を飛躍的に低減させることができる。

【 0 1 9 1 】

また、一実施の形態によれば、審議書面等の各種情報を XML ファイルに変換し、XML データベース 4 0 0 に格納するようにしたので、ユーザが独自に定義した XML タグにより XML データベース 4 0 0 の検索性を向上させることができる。

【 0 1 9 2 】

また、一実施の形態によれば、XML データベース 4 0 0 に格納された原文ファイルを雛型として審議依頼者に提供するようにしたので、この雛型に基づいて審議書面を容易に作成することができ、作成時間を短縮することができる。

【 0 1 9 3 】

以上本発明にかかる一実施の形態について図面を参照して詳述してきたが、具体的な構成例はこの一実施の形態に限られるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲の設計変更等があっても本発明に含まれる。たとえば、前述した一実施の形態においては、図 1 に示したサーバ 2 0 0 の機能を実現するための書面審議プログラムを図 3 6 に示したコンピュータ読み取り可能な記録媒体 5 0 0 0 に記録して、この記録媒体 5 0 0 0 に記録された書面審議プログラムを同図に示したコンピュータ 4 0 0 0 に読み込ませ、実行することにより書面審議に関する一連の処理を実行するようにしてもよい。

【 0 1 9 4 】

図 3 6 に示したコンピュータ 4 0 0 0 は、上記書面審議プログラムを実行する CPU 4 1 0 0 と、キーボード、マウス等の入力装置 4 2 0 0 と、各種データを記憶する ROM (Read Only Memory) 4 3 0 0 と、演算パラメータ等を記憶する RAM (Random Access Memory) 4 4 0 0 と、記録媒体 5 0 0 0 から書面審議プログラムを読み取る読取装置 4 5 0 0 と、ディスプレイ、プリンタ等の出力装置 4 6 0 0 と、各部を接続するバス B U とから構成されている。

【 0 1 9 5 】

CPU 4 1 0 0 は、読取装置 4 5 0 0 を経由して記録媒体 5 0 0 0 に記録されている書面審議プログラムを読み込んだ後、書面審議プログラムを実行することにより、前述した書面審議に関する一連の処理を実行する。なお、記録媒体 5 0 0 0 には、光ディスク、フロッピーディスク、ハードディスク等の可搬型の記録媒体が含まれることはもとより、ネットワークのようにデータを一時的に記録保持するような伝送媒体も含まれる。

【 0 1 9 6 】

(付記 1) 電子化された審議書面を審議書面データベースに格納する審議書面格納手段と、

前記審議書面を審議する審議者の属性情報を属性情報データベースとして格納する属性情報格納手段と、

前記審議者の属性情報に基づいて、依頼者に審議者を選択させる選択手段と、

前記選択手段により選択された審議者にネットワークを介して前記審議書面の審議を依頼する審議依頼手段と、

を備えたことを特徴とする書面審議装置。

(付記 2) 前記審議者に前記審議書面を閲覧させる審議書面閲覧手段と、

前記審議者により審議された前記審議書面の審議結果を回収する回収手段と、前記回収手段により回収された前記審議結果を前記依頼者に閲覧させる審議結果閲覧手段とを備えたことを特徴とする付記 1 に記載の書面審議装置。

(付記 3) 前記審議書面格納手段は、前記審議者の属性情報に対応付けて前記審議書面の重要度を設定し、前記審議書面閲覧手段は、前記重要度に応じて閲覧の許可／禁止を制御することを特徴とする付記 2 に記載の書面審議装置。

(付記 4) 前記審議結果の回収状況をチェックし、予め設定された回収期限の前後に、当該審議者に対して審議を督促する督促手段を備えたことを特徴とする付記 1 ～ 3 のいずれか一つに記載の書面審議装置。

(付記 5) 回収された前記審議結果におけるフレーズ毎に XML タグを付け、該審議結果を審議結果データベースとして格納する審議結果格納手段と、前記審議結果データベースに格納された前記審議結果を集計し、前記依頼者へ集計結果を閲覧させる集計結果閲覧手段とを備えたことを特徴とする付記 2 ～ 4 のいずれか一つに記載の書面審議装置。

(付記 6) 前記審議書面格納手段は、前記審議書面のファイルを少なくとも XML ファイルに変換したものを前記審議書面データベースに格納することを特徴とする付記 1 ～ 5 のいずれか一つに記載の書面審議装置。

(付記 7) 前記審議書面の作成時に、前記審議書面データベースに格納された審議書面を雛型として提供する雛型提供手段を備えたことを特徴とする付記 1 ～ 6 のいずれか一つに記載の書面審議装置。

(付記 8) 電子化された審議書面を審議書面データベースに格納する審議書面格納工程と、

前記審議書面を審議する審議者の属性情報を属性情報データベースとして格納する属性情報格納工程と、

前記審議者の属性情報に基づいて、依頼者に審議者を選択させる選択工程と、

前記選択工程で選択された審議者にネットワークを介して前記審議書面の審議を依頼する審議依頼工程と、

を含むことを特徴とする書面審議方法。

(付記 9) 電子化された審議書面を審議書面データベースに格納させる審議書面格納工程と、

前記審議書面を審議する審議者の属性情報を属性情報データベースとして格納させる属性情報格納工程と、

前記審議者の属性情報に基づいて、依頼者に審議者を選択させる選択工程と、

前記選択工程で選択された審議者にネットワークを介して前記審議書面の審議を依頼させる審議依頼工程と、

をコンピュータに実行させるための書面審議プログラム。

(付記 10) 前記審議者に前記審議書面を閲覧させる審議書面閲覧工程と、

前記審議者により審議された前記審議書面の審議結果を回収させる回収工程と、前記回収工程で回収された前記審議結果を前記依頼者に閲覧させる審議結果閲覧工程とを含むことを特徴とする付記 9 に記載の書面審議プログラム。

(付記 11) 前記審議書面格納工程では、前記審議者の属性情報に対応付けて前記審議書面の重要度を設定させ、前記審議書面閲覧工程では、前記重要度に応じて閲覧の許可／禁止を制御させることを特徴とする付記 10 に記載の書面審議プログラム。

(付記 12) 前記審議結果の回収状況をチェックし、予め設定された回収期限の前後に、当該審議者に対して審議を督促させる督促工程を含むことを特徴とする付記 9 ～ 11 のいずれか一つに記載の書面審議プログラム。

(付記 13) 回収された前記審議結果におけるフレーズ毎に XML タグを付け、該審議結果を審議結果データベースとして格納させる審議結果格納工程と、前記審議結果データベースに格納された前記審議結果を集計し、前記依頼者へ集計結果を閲覧させる集計結果閲覧工程とを含むことを特徴とする付記 10 ～ 12 のいずれか一つに記載の書面審議プログラム。

(付記 14) 前記審議書面格納工程では、前記審議書面のファイルを少なくとも XML ファイルに変換したものを前記審議書面データベースに格納させること

を特徴とする付記 9 ～ 1 3 のいずれか一つに記載の書面審議プログラム。

(付記 1 5) 前記審議書面の作成時に、前記審議書面データベースに格納された審議書面を雛型として提供させる雛型提供工程を含むことを特徴とする付記 9 ～ 1 4 のいずれか一つに記載の書面審議プログラム。

【 0 1 9 7 】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、審議者の属性情報に基づいて依頼者に審議者を選択させ、この選択された審議者にネットワークを介して審議書面の審議を依頼するようにしたので、従来のように紙ベースで依頼を行う場合に比して、書面審議にかかる労力、コストを低減することができるという効果を奏する。

【 0 1 9 8 】

また、本発明によれば、審議者により審議された審議書面の審議結果を回収し、回収された審議結果を依頼者に閲覧させるようにしたので、依頼者にとって審議結果を容易に把握することができるという効果を奏する。

【 0 1 9 9 】

また、本発明によれば、審議者の属性情報に対応付けて審議書面の重要度を設定し、重要度に応じて閲覧の許可／禁止を制御するようにしたので、機密情報の漏洩を防止することができ、セキュリティを高めることができるという効果を奏する。

【 0 2 0 0 】

また、本発明によれば、審議結果の回収状況をチェックし、予め設定された回収期限の前後に、当該審議者に対して審議を督促するようにしたので、依頼者が電話等で督促を行う必要がなくなり、依頼者の労力を飛躍的に低減させることができるという効果を奏する。

【 0 2 0 1 】

また、本発明によれば、審議結果データベースに格納された審議結果を集計し、依頼者へ集計結果を閲覧させるようにしたので、依頼者にとって審議結果の集計結果を容易に把握することができるという効果を奏する。

【 0 2 0 2 】

また、本発明によれば、審議書面のファイルを少なくともXMLファイルに変換したものを審議書面データベースに格納するようにしたので、ユーザが独自に定義したXMLタグにより審議書面データベースの検索性を向上させることができるという効果を奏する。

【 0 2 0 3 】

また、本発明によれば、審議書面データベースに格納された審議書面を雛型として提供するようにしたので、この雛型に基づいて審議書面を容易に作成することができ、作成時間を短縮することができるという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明にかかる一実施の形態の構成を示すブロック図である。

【図 2】

図 1 に示した各種メタ情報を示す図である。

【図 3】

図 1 に示した各種メタ情報を示す図である。

【図 4】

図 1 に示した各種メタ情報を示す図である。

【図 5】

同一実施の形態の動作を説明するフローチャートである。

【図 6】

図 5 に示した制定・改版処理を説明するフローチャートである。

【図 7】

図 5 に示した審議依頼処理を説明するフローチャートである。

【図 8】

図 7 に示した依頼メール作成処理を説明するフローチャートである。

【図 9】

図 7 に示した調査者回答処理を説明するフローチャートである。

【図 1 0】

図 7 および図 1 1 に示した承認処理を説明するフローチャートである。

【図 1 1】

図 5 に示した審議受託処理を説明するフローチャートである。

【図 1 2】

図 1 1 に示した審議結果回答処理を説明するフローチャートである。

【図 1 3】

図 5 に示したシステム管理処理を説明するフローチャートである。

【図 1 4】

同一実施の形態におけるユーザ認証画面 1 0 0 0 の一例を示す図である。

【図 1 5】

同一実施の形態におけるトップメニュー画面 1 1 0 0 の一例を示す図である。

【図 1 6】

同一実施の形態における制定・改版・規格番号入力画面 1 2 0 0 の一例を示す図である。

【図 1 7】

同一実施の形態における原文ファイルアップロード画面 1 3 0 0 の一例を示す図である。

【図 1 8】

同一実施の形態における審議依頼・規格番号入力画面 1 4 0 0 の一例を示す図である。

【図 1 9】

同一実施の形態における審議依頼メニュー画面 1 5 0 0 の一例を示す図である。

【図 2 0】

同一実施の形態における依頼メール作成画面 1 6 0 0 の一例を示す図である。

【図 2 1】

同一実施の形態における依頼明細作成画面 1 7 0 0 の一例を示す図である。

【図 2 2】

同一実施の形態における審議依頼先選択画面 1 8 0 0 の一例を示す図である。

【図 2 3】

同一実施の形態における部門外依頼先選択画面 1 9 0 0 の一例を示す図である。

【図 2 4】

同一実施の形態における調査者回答画面 2 0 0 0 の一例を示す図である。

【図 2 5】

同一実施の形態における変更内容入力画面 2 1 0 0 の一例を示す図である。

【図 2 6】

同一実施の形態における承認／却下画面 2 2 0 0 の一例を示す図である。

【図 2 7】

同一実施の形態における規格選択画面 2 3 0 0 の一例を示す図である。

【図 2 8】

同一実施の形態における審議受託メニュー画面 2 4 0 0 の一例を示す図である。

【図 2 9】

同一実施の形態における依頼明細参照画面 2 5 0 0 の一例を示す図である。

【図 3 0】

同一実施の形態における原文参照画面 2 6 0 0 の一例を示す図である。

【図 3 1】

同一実施の形態における原文ダウンロード画面 2 7 0 0 の一例を示す図である。

【図 3 2】

同一実施の形態における審議結果回答画面 2 8 0 0 の一例を示す図である。

【図 3 3】

同一実施の形態における審議結果参照画面 2 9 0 0 の一例を示す図である。

【図 3 4】

同一実施の形態におけるシステム管理画面 3 0 0 0 の一例を示す図である。

【図 3 5】

同一実施の形態におけるユーザ登録画面 3 1 0 0 の一例を示す図である。

【図 3 6】

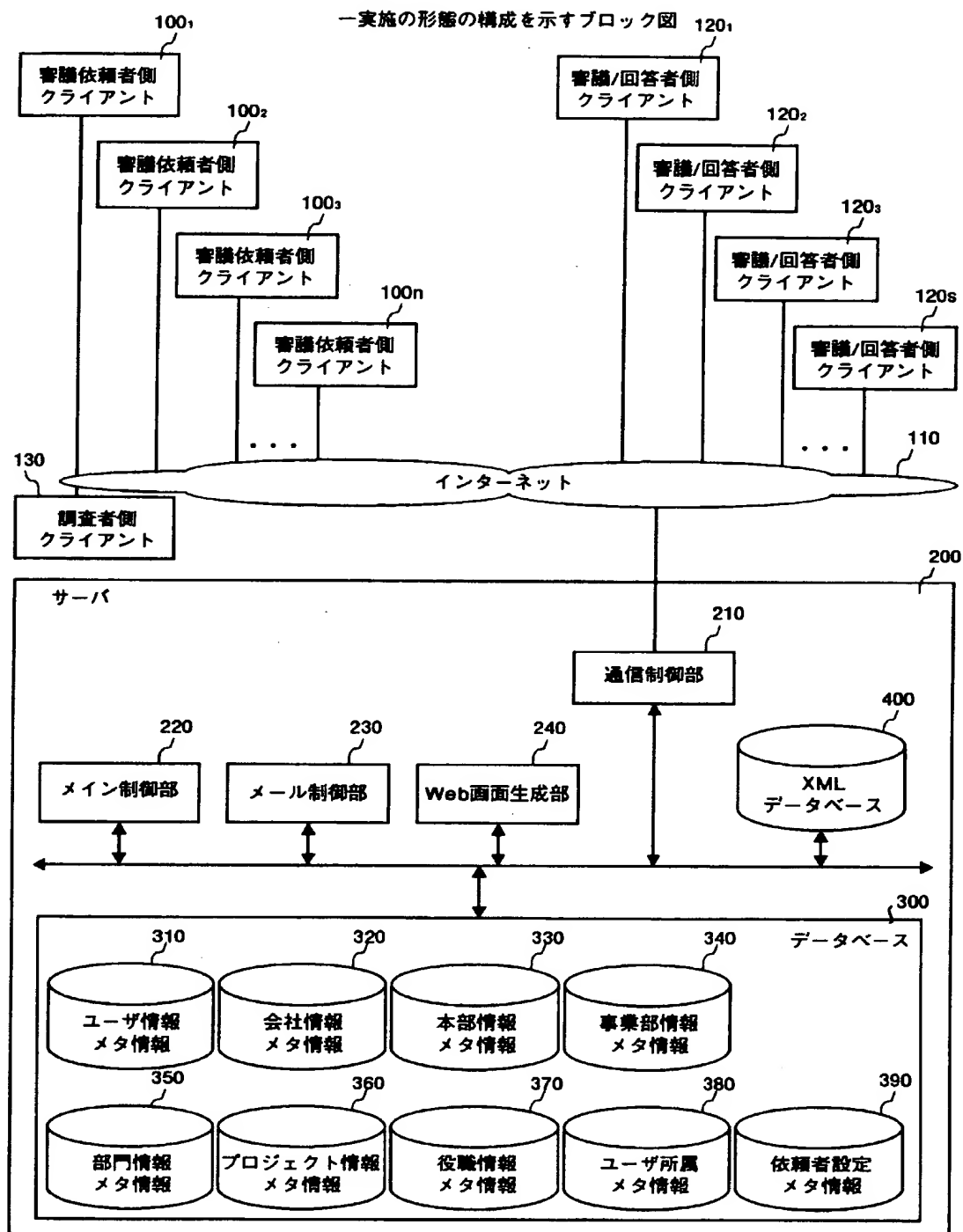
同一実施の形態の変形例を示すブロック図である。

【符号の説明】

- 1 0 0₁ ~ 1 0 0_n 審議依頼者側クライアント
- 1 1 0 インターネット
- 1 2 0₁ ~ 1 2 0_s 審議／回答者側クライアント
- 1 3 0 調査者側クライアント
- 2 0 0 サーバ
- 2 2 0 メイン制御部
- 2 3 0 メール制御部
- 2 4 0 W e b 画面生成部
- 3 0 0 データベース
- 4 0 0 XMLデータベース

【書類名】 図面

【図 1】



【図 2】

図1に示した各種メタ情報を示す図

310; ユーザ情報メタ情報

ユーザID	パスワード	メールアドレス	氏名	役職コード	内線番号
00000001	121212	abc@fj.co.jp	富士通 太郎	0001	277-301
00000002	343434	def@fj.co.jp	山田 次郎	0002	277-302

(a)

部門コード	プロジェクトコード	依頼順位
0100	1000	1
0100	1001	2

320; 会社情報メタ情報

会社コード	会社名
1111	A株式会社
1112	B株式会社

(b)

330; 本部情報メタ情報

本部コード	本部名
1111	XX本部
2222	YY本部

(c)

340; 事業部情報メタ情報

事業部コード	事業部名
1111	AA事業部
2222	BB統括部

(d)

【図 3】

図1に示した各種メタ情報を示す図

350;部門情報メタ情報

部門コード	会社コード	本部コード	事業部コード	部門名	権限A	権限B	権限C
0100	1111	1111	1111	ABC部	1	1	1
0101	1111	2222	2222	DEF部	0	1	1

(a)

360 ; プロジェクト情報メタ情報

プロジェクトコード	プロジェクト名
1000	DKMS V1.0
1001	DKMS V1.1

(b)

370 ; 役職情報メタ情報

役職コード	役職名
0001	部長
0002	課長

(c)

【図 4】

図1に示した各種メタ情報を示す図

380；ユーザ所属設定メタ情報

ユーザID	部門コード	プロジェクトコード
00000001	0100	1000
00000002	0100	1001

(a)

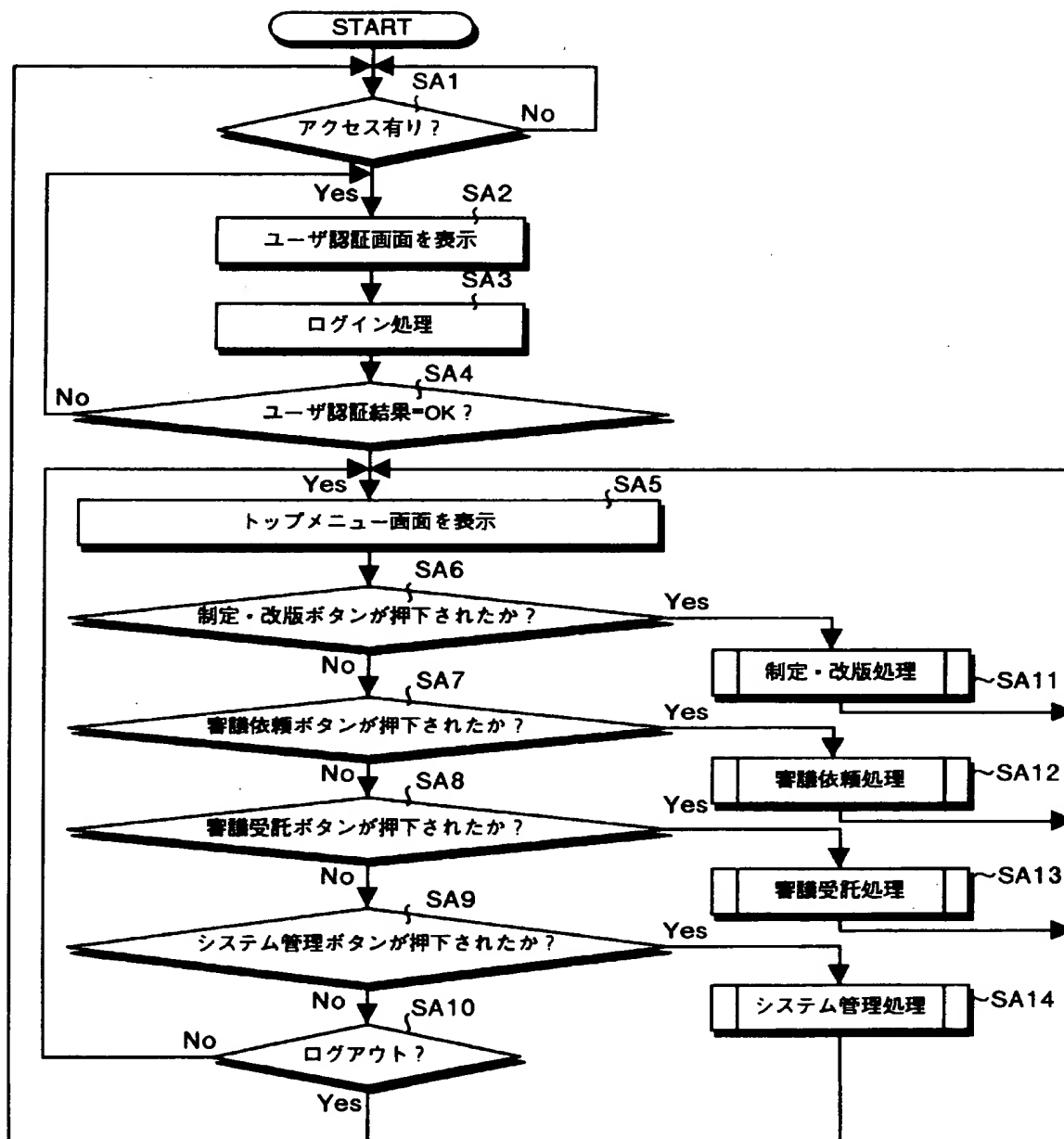
390；依頼者設定メタ情報

ユーザID	部門コード	依頼順位	プロジェクトコード
00000001	0100	1	1000
00000002	0100	2	1001

(b)

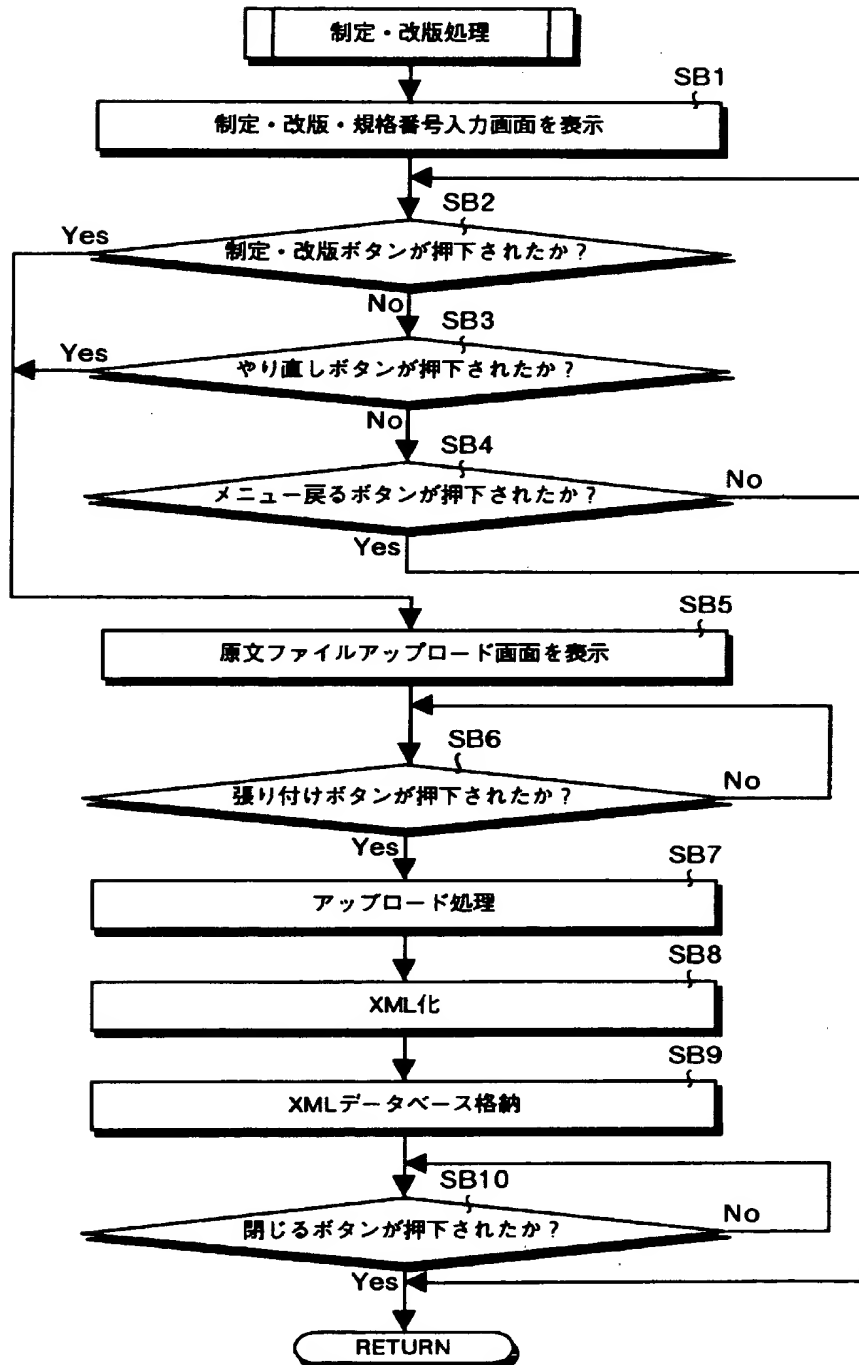
【図 5】

一実施の形態の動作を説明するフローチャート



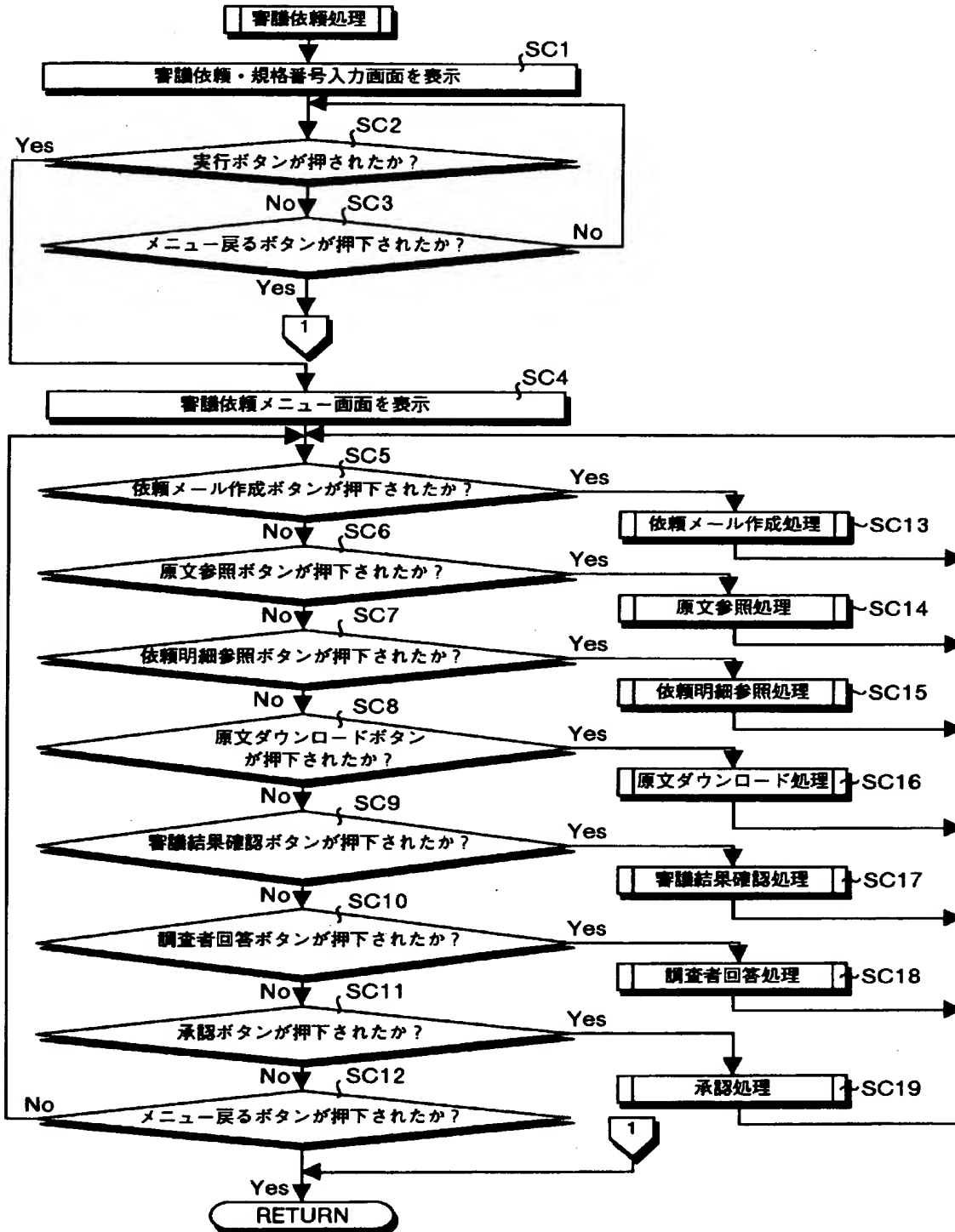
【図 6】

図5に示した制定・改版処理を説明するフローチャート



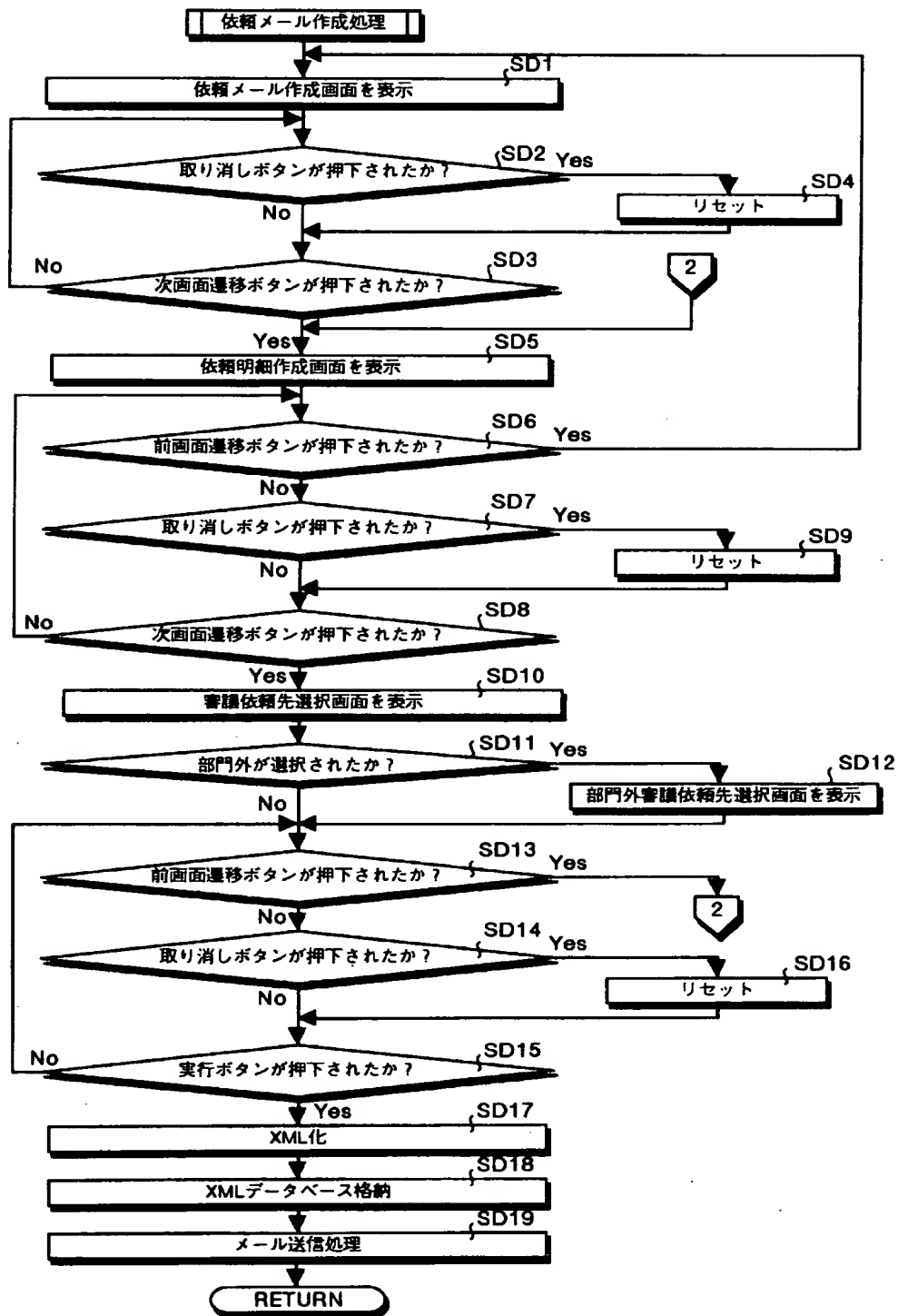
【図 7】

図5に示した審議依頼処理を説明するフローチャート

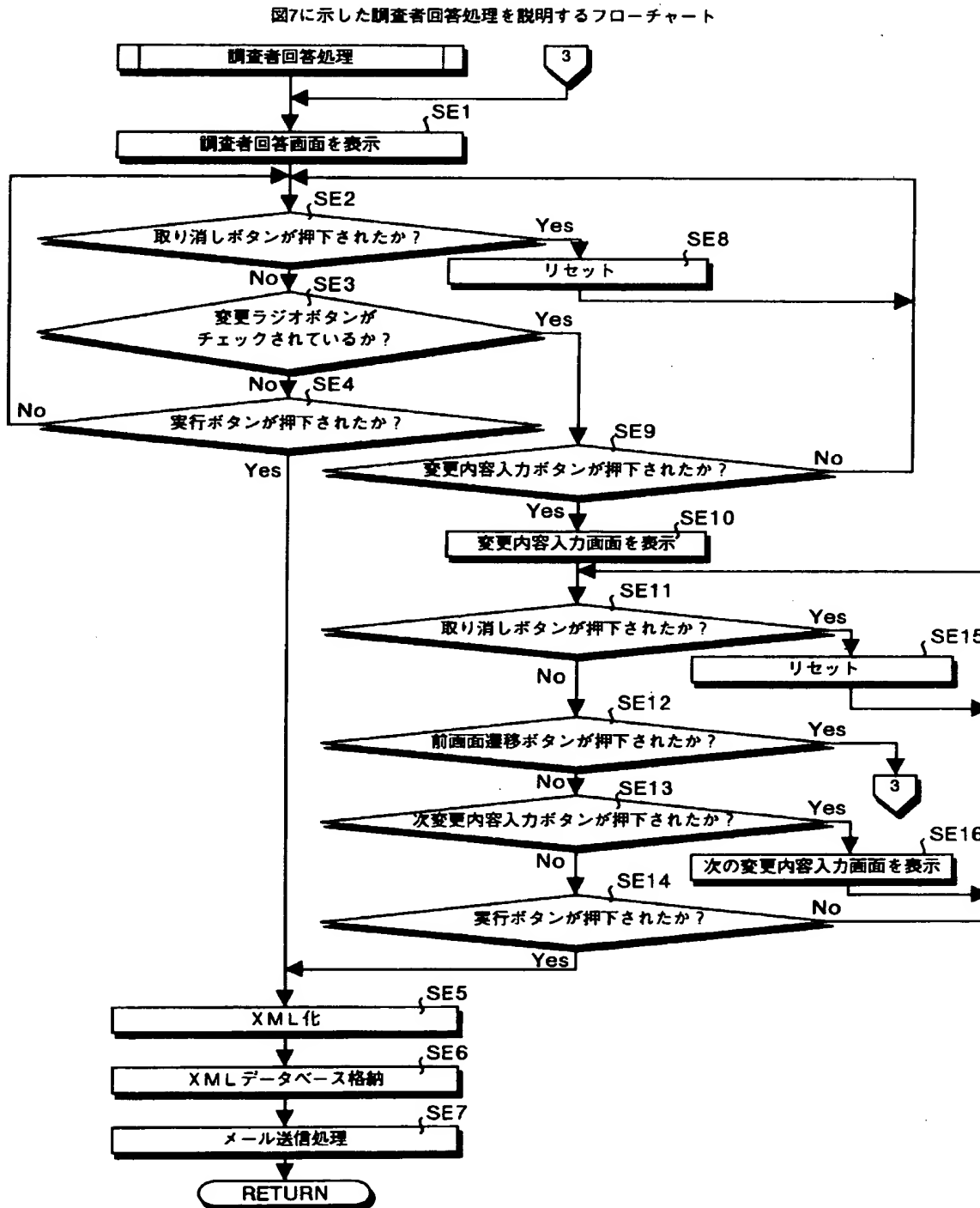


【図 8】

図7に示した依頼メール作成を説明するフローチャート

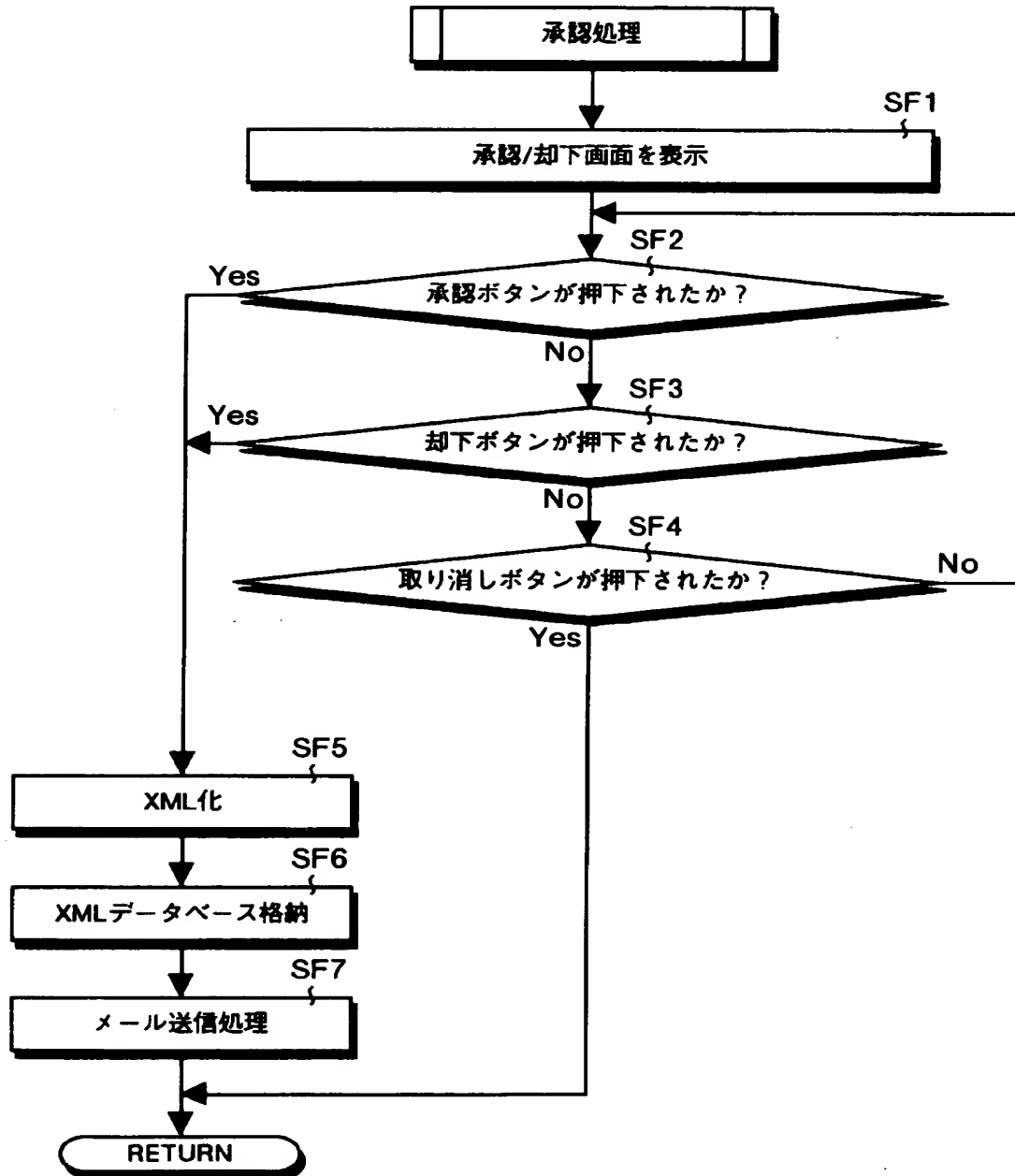


【図 9】

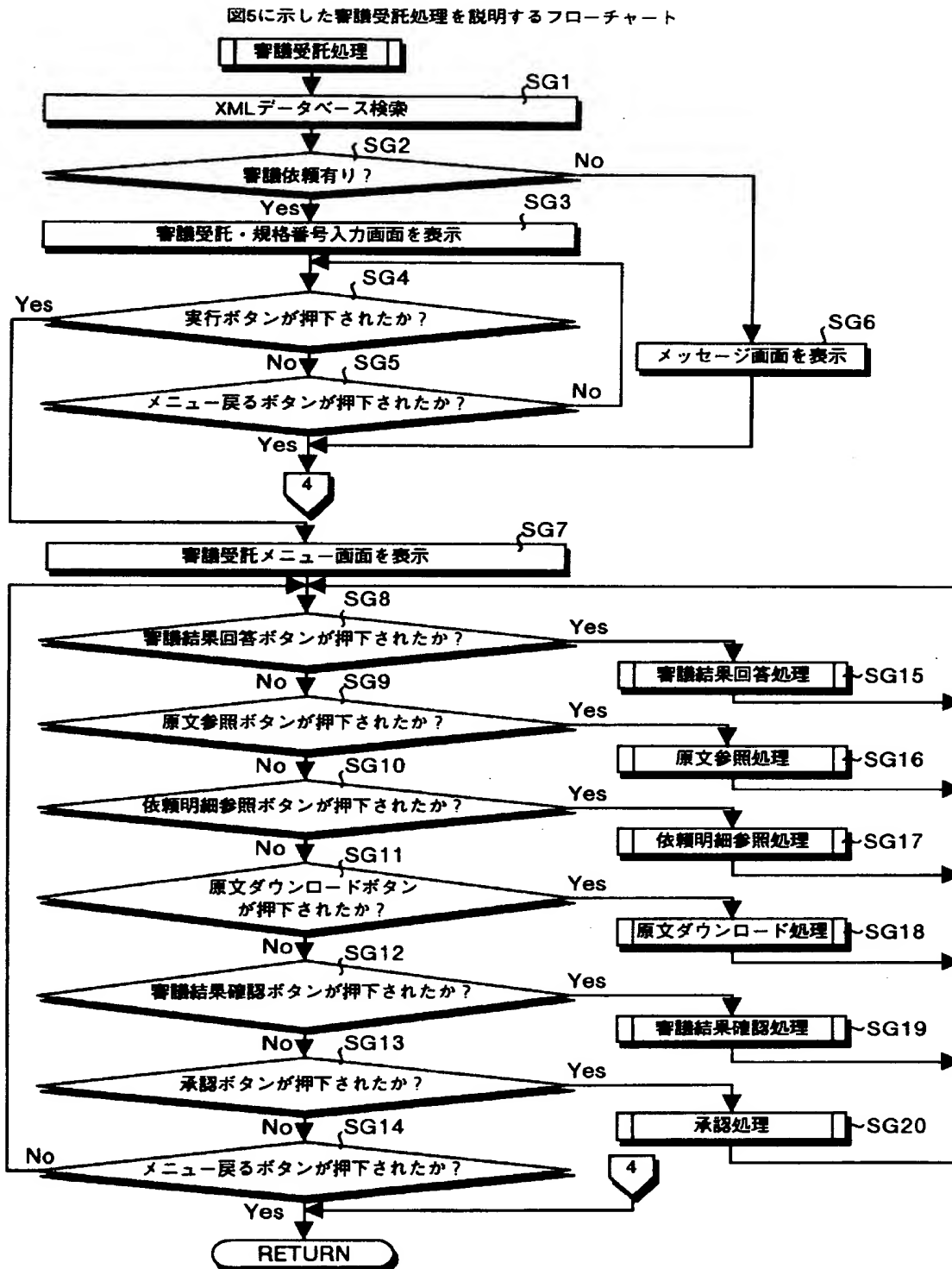


【図 1 0】

図7および図11に示した承認処理を説明するフローチャート

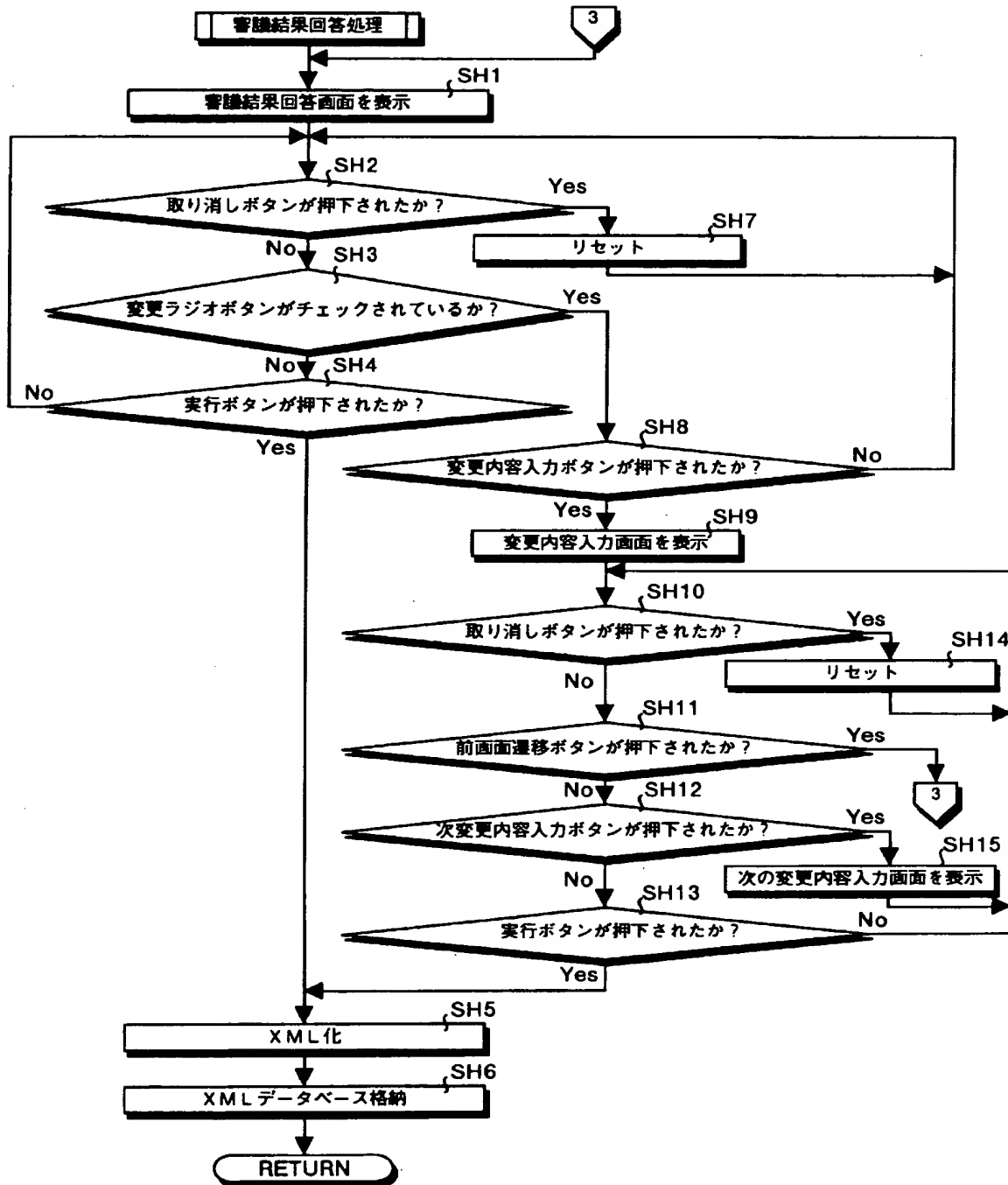


【図 11】



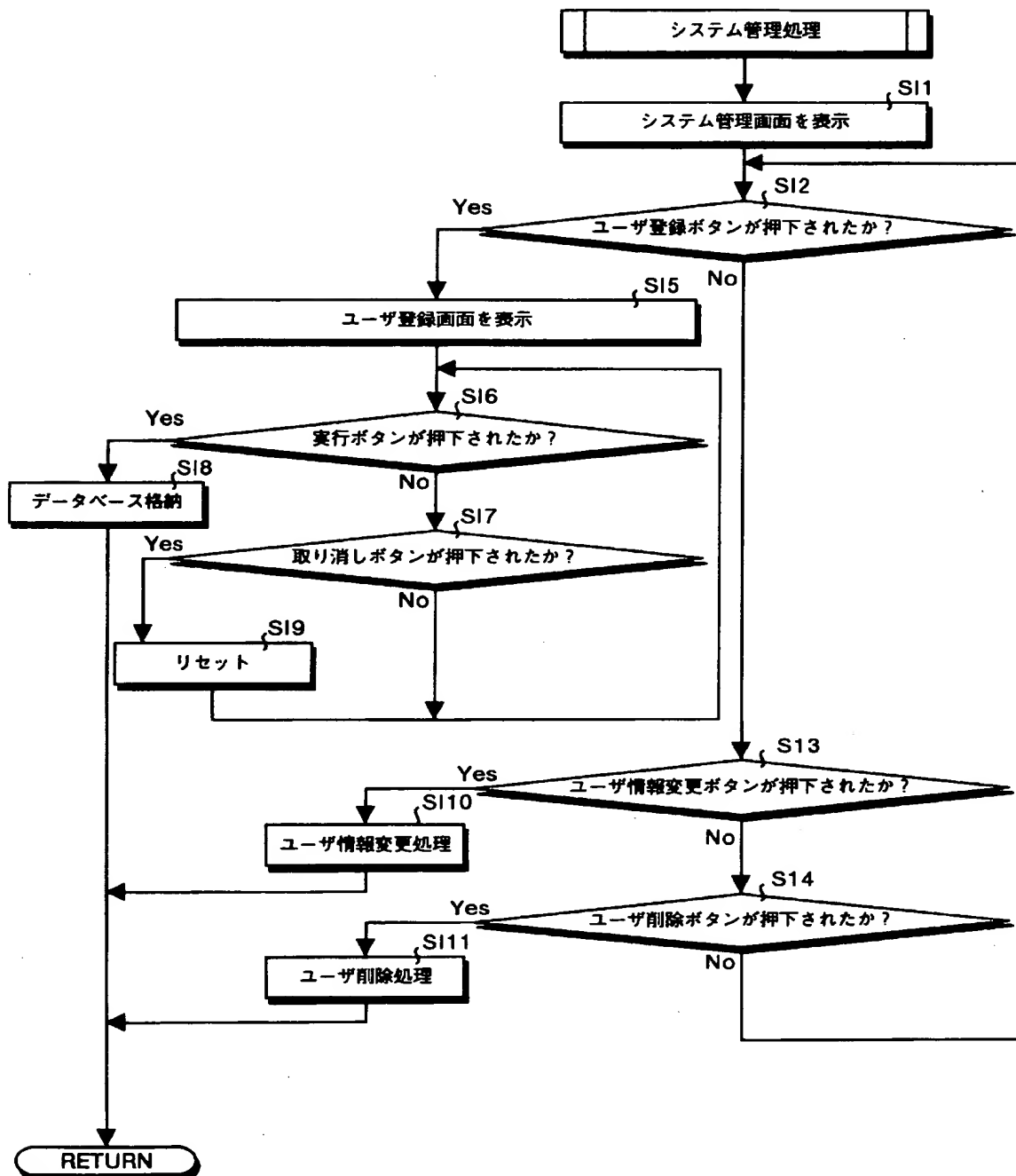
【図 1 2】

図11に示した審議結果回答処理を説明するフローチャート



【図 1 3】

図5に示したシステム管理処理を説明するフローチャート



【図 1 4】

一実施の形態におけるユーザ認証画面1000の一例を示す図

1000

認証情報を入力してください

1001

ユーザ名称（従業員番号）

1002

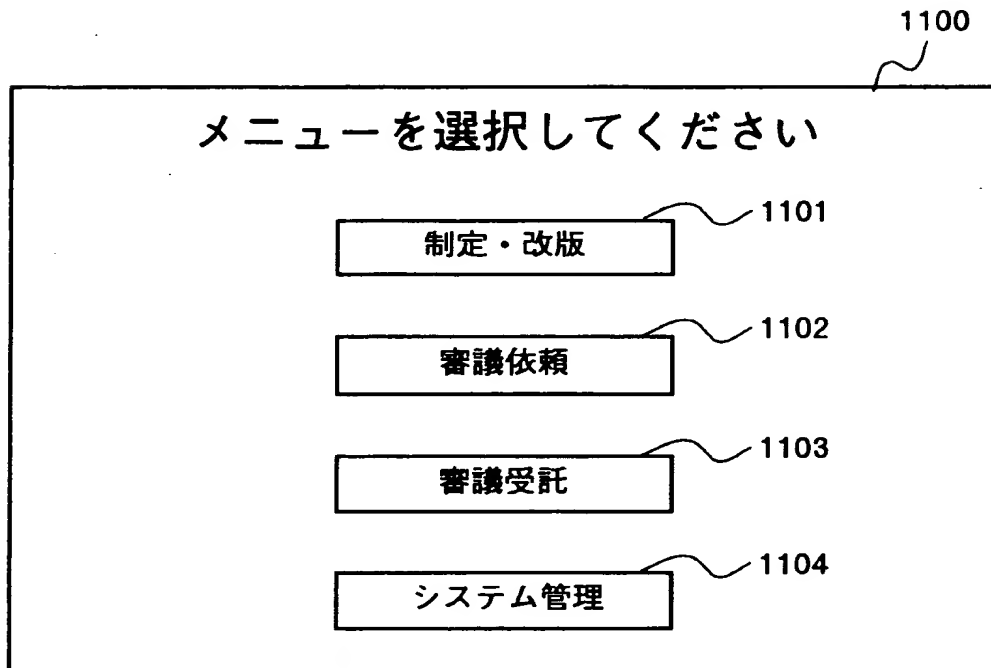
パスワード

1003

実行

【図 1 5】

一実施の形態におけるトップメニュー画面1100の一例を示す図



【図 1 6】

一実施の形態における制定・改版・規格番号入力画面1200の一例を示す図

1200

制定・改版
規格番号を入力してください

1201

CN ▼ 001 - 0001 改版 01 ▼

1202

1203

制定・改版

1204

やり直し

1205

メニューへ戻る

【図 17】

一実施の形態における原文ファイルアップロード画面1300の一例を示す図

1300

1. 規格名称、頁数、規格重要度を入力した後、
「参照」ボタンで原文ファイルを選択してください。

2. 「張り付け」ボタンで選択した原文ファイルを
アップロードします。

規格名称 1301

頁数 1302

規格重要度 ▼ 1303

ファイル名 1304

1305

参照

1306

張り付け

1307

閉じる

【図 1 8】

一実施の形態における審議依頼・規格番号入力画面1400の一例を示す図

審議依頼
規格番号を入力してください

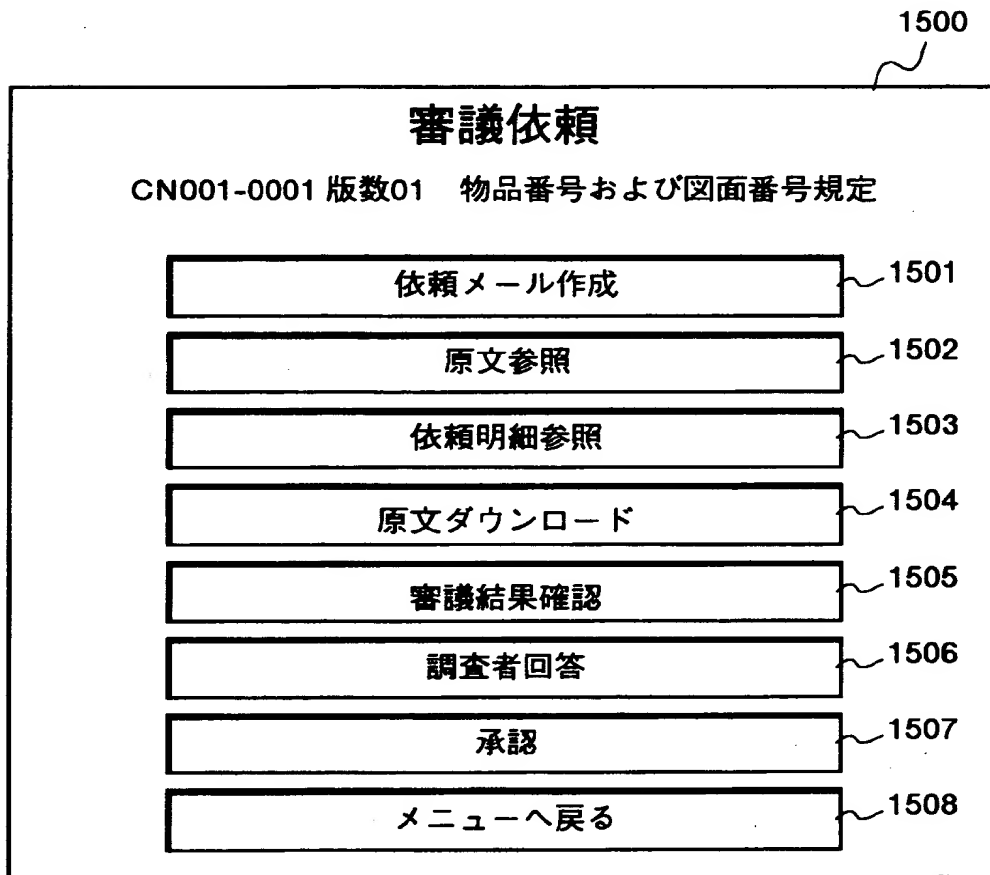
CN ▼ 001 - 0001 改版 01 ▼

実行

メニューへ戻る

【図 1 9】

一実施の形態における審議依頼メニュー画面1500の一例を示す図



【図 20】

一実施の形態における依頼メール作成画面1600の一例を示す図

1600

依頼メールを作成してください。

件名 「××××規定」の書面審議について 1601

本文 規定を見直しました。
つきましては貴プロジェクトにおきまして、
下記の規格を審議して頂き、
その審議結果をご回答下さいます様に
お願い申し上げます。 1602

締め切り 2001 ▼ 年 4 ▼ 月 1 ▼ 日 1603

次へ 1604

取り消し 1605

【図 2 1】

一実施の形態における依頼明細作成画面1700の一例を示す図

1700

依頼明細を作成してください。

制定主旨	×××は全面停止となるため当規格を変更する。	1701
制定概要	×××に関する事項を策所し、×××に置き換えて規定した。	1702
現状規格	改版規格に対する現状内容は、×××を参照して頂きます様にお願い申し上げます。	1703
注意事項	審議回答締め切り年月日を過ぎても回答が無い場合は、異議無しとして取り扱いますのでご承知おき願います。	1704

戻る

次へ

取り消し

1706 1705
1707

【図 2 2】

一実施の形態における審議依頼先選択画面1800の一例を示す図

1800

依頼先を選択してください。

1801

1802

部門内 ▼

役職名	調査者	承認者	電子メールアドレス
部長	◎ 調査	● 承認	tanaka@fj.co.jp
課長	● 調査	◎ 承認	sato@fj.co.jp
係長	● 調査	◎ 承認	suzuki@fj.co.jp

▲

▼

1803

戻る

1804

取り消し

1805

実行

【図 2 3】

一実施の形態における部門外依頼先選択画面1900の一例を示す図

1900

依頼先を選択してください。

1901

1902

部門外 ▼

会社名	事業部/統括部	担当部門	電子メールアドレス
A株式会社	AA事業部	第一技術部	yamada@a.com
A株式会社	BB統括部	第二技術部	satou@a.com
A株式会社	CC事業部	第三技術部	kimura@a.com

1903

戻る

1904

取り消し

1905

実行

【図 2 4】

—実施の形態における調査者回答画面2000の一例を示す図

2000

以下の規格について調査結果を
回答してください。

規格番号 CN001-0001 版数1 物品番号および図面番号規定

2001 ~~~~~ ◎ 制定案のままで良い

2002 ~~~~~ ● 変更点がある

2003 2004 2005

実行 取り消し 変更内容入力

【図 2 5】

一実施の形態における変更内容入力画面2100の一例を示す図

2100

変更内容を入力してください。

変更ページ 2 ▼ 変更箇所 4.1.2

原文 当該規格の制定にあたっては事前に
ABC部の承認が必要である。 2103

変更内容 当該規格の規定にあたっては事前に
XYZの承認が必要である。 2104

戻る 2105
実行 2106

次の変更内容入力 2107
取り消し 2108

【図 2 6】

一実施の形態における承認/却下画面2200の一例を示す図

2200

以下の規格について承認しますか？

規格番号 CN001-0001 版数1

規格名称 物品場の受取者および図面番号規定

2201 2202 2203

承認 却下 取り消し

【図 27】

一実施の形態における規格選択画面2300の一例を示す図

2300

審議受託

規格を選択してください。

2301

規格番号/版数	規格名称	依頼先	回答状況
CN001-0001-01	物品番号および図面番号規定	部門宛	未回答
CN002-0002-01	所内閲覧文書規格	部門宛	未回答
CN003-0001-01	書類番号規定	部門宛	回答済

実行

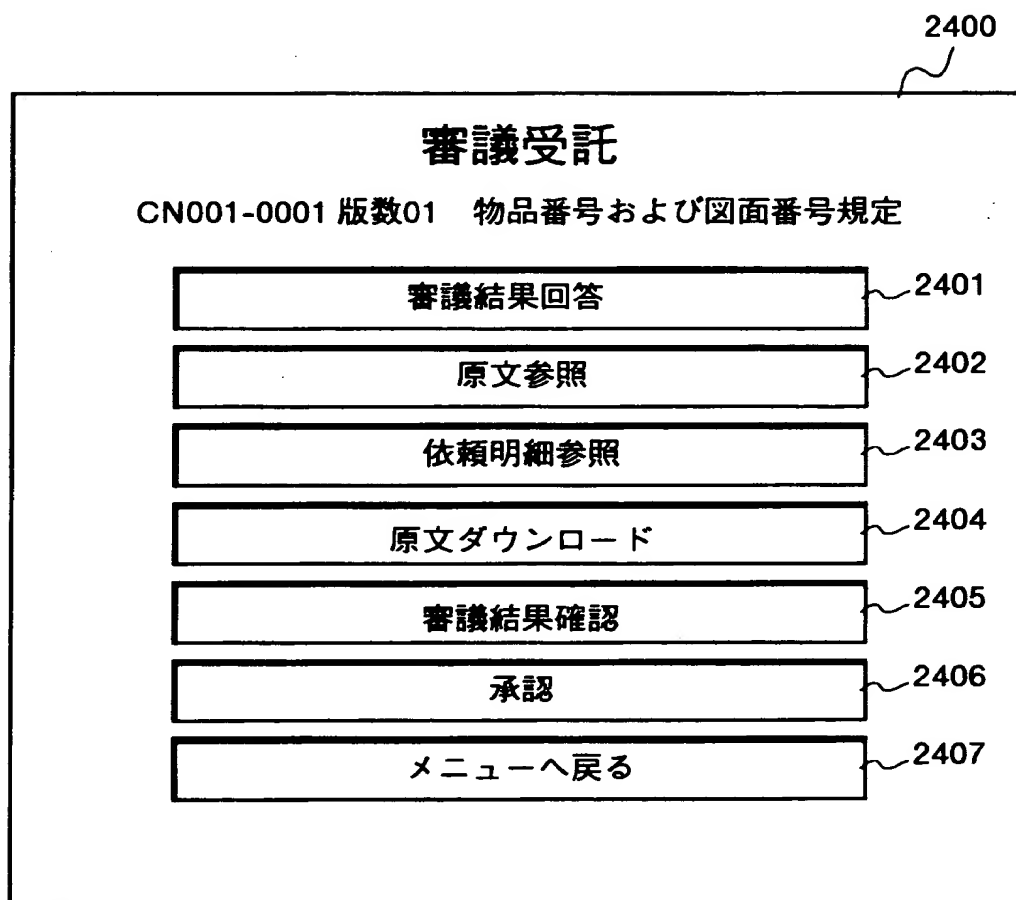
2302

メニューへ戻る

2303

【図 2 8】

一実施の形態における審議受託メニュー画面2400の一例を示す図



【図 29】

一実施の形態における依頼明細参照画面2500の一例を示す図

2500

書面審議の依頼明細

2501

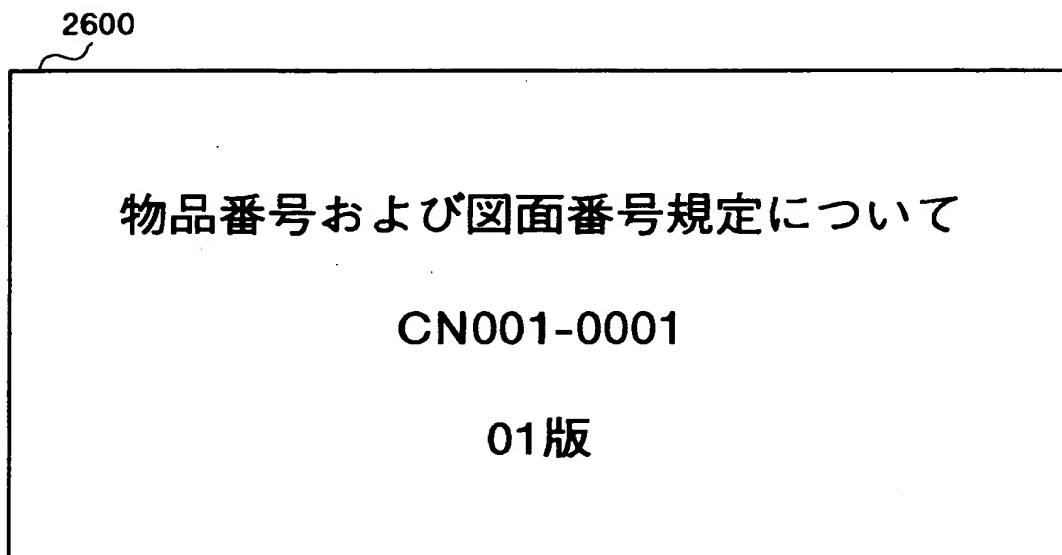
規格番号	規格名称
CN001-0001	物品番号および図面番号規定
回答締め切り年月日	2001年4月1日の定時までにご回答願います。
制定主旨	×××は全面停止となるため当規格を変更する。
制定概要	×××に関する事項を策所し、×××に置き換えて規定した。
現状規格	改版規格に対する現状内容は、×××を参照して頂きます様にお願い申し上げます。
注意事項	審議回答締め切り年月日を過ぎても回答が無い場合は、異議無しとして取り扱いますのでご承知おき願います。

閉じる

2502

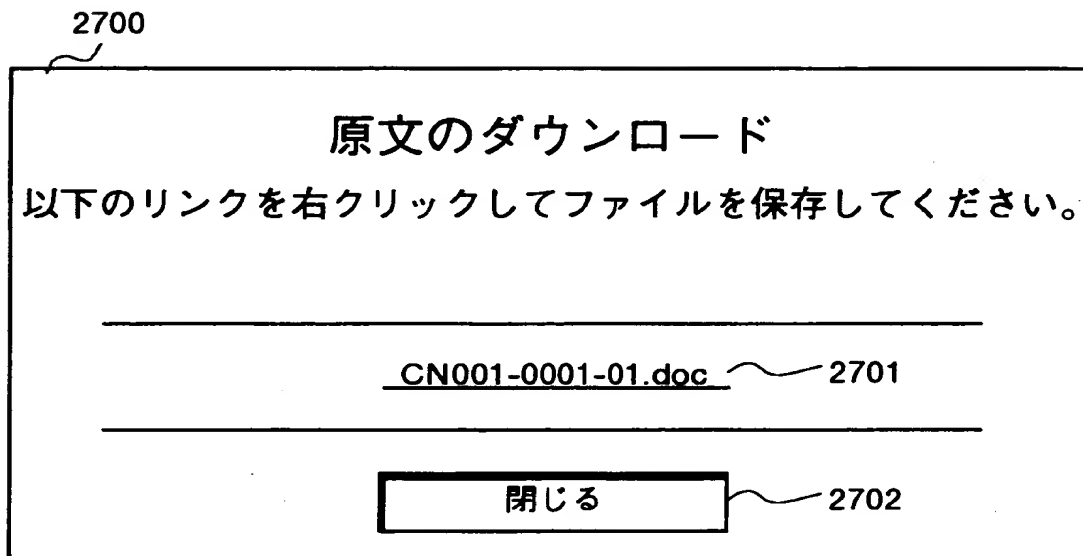
【図 3 0】

一実施の形態における原文参照画面2600の一例を示す図



【図 3 1】

一実施の形態における原文ダウンロード画面2700の一例を示す図



【図 3 2】

一実施の形態における審議結果回答画面2800の一例を示す図

2800

以下の規格について審議結果を
回答してください。

規格番号 CN001-0001 版数1 物品番号および図面番号規定

2801 ◯ 制定案のままで良い

2802 ● 変更点がある

2803 実行

2804 取り消し

2805 変更内容入力

【図 33】

—実施の形態における審議結果参照画面2900の一例を示す図

2900

審議結果一覧

2901

日時	部門名	変更頁	変更箇所	原文	変更内容
2000.4.1	ZZ本部) ABC部	2	4.1.2	当該規格の制定にあたっては事前に ABC部の承認が必要である	当該規格の制定にあたっては事前に XYZの承認が必要である
2000.4.8	SS本部) GHI部				変更無し

未回答一覧

2902

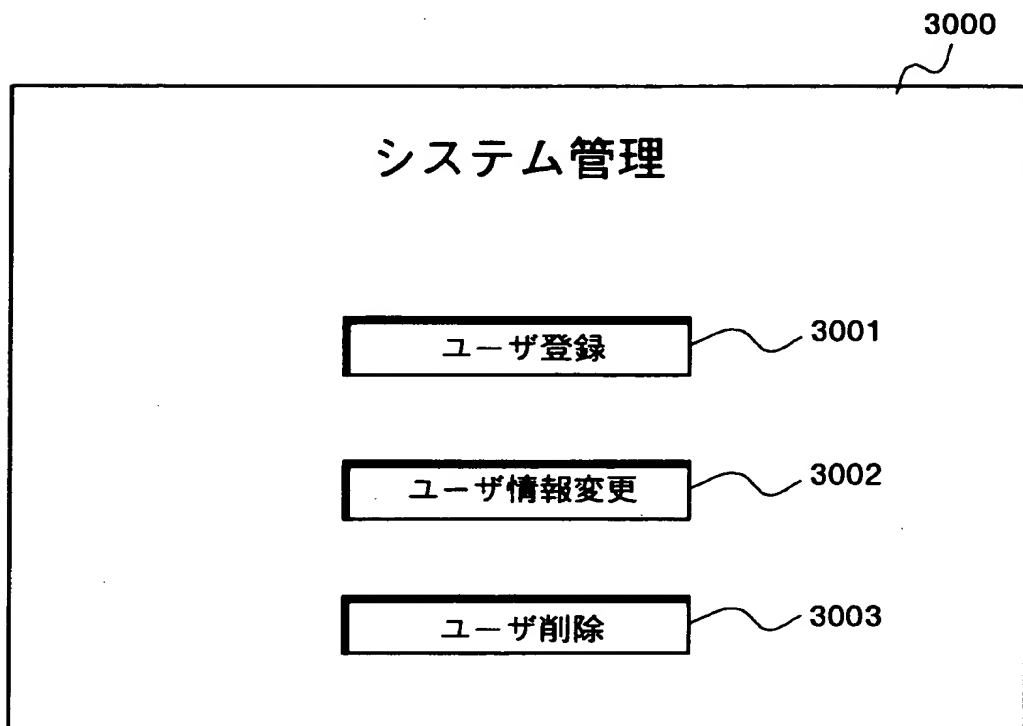
SS本部) ABC部
SS本部) ABC部

閉じる

2903

【図 3 4】

一実施の形態におけるシステム管理画面3000の一例を示す図



【図 3 5】

一実施の形態におけるユーザ登録画面3100の一例を示す図

3100

新規ユーザを登録してください。

3101

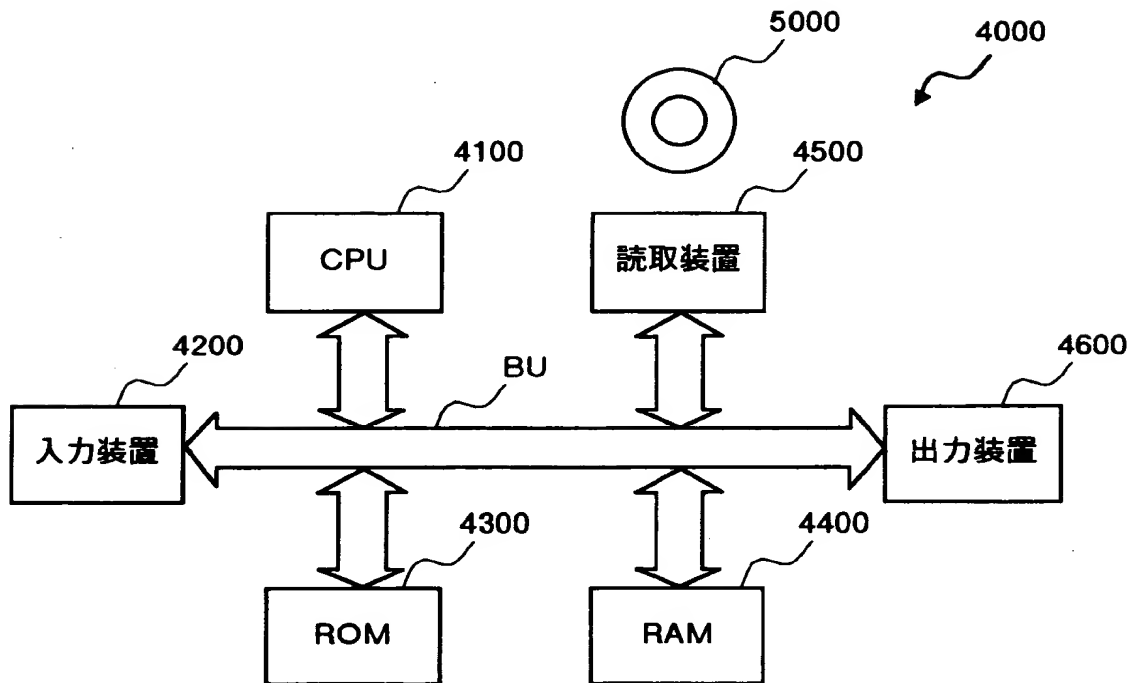
入力項目	入力欄	備考
ユーザ名称 (従業員番号)	00000001	
パスワード	*****	
パスワードの確認入力	*****	
電子メールアドレス	abc@fj.co.jp	
姓	富士通	
名	太郎	
役職コード	0001	
内線番号	277301	
部門コード	0100	
プロジェクトコード	1000	
依頼順位	1 <input type="button" value="▼"/>	

3102 3103

実行 取り消し

【図 3 6】

一実施の形態の変形例を示すブロック図



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 書面審議にかかる労力、コストを低減すること。

【解決手段】 電子化された審議書面を格納するXMLデータベース400と、審議書面を審議する審議／回答者の属性情報を格納するデータベース300と、審議／回答者の属性情報に基づいて、審議依頼者に審議／回答者を選択させ、選択された審議／回答者にインターネット110を介して審議書面の審議を依頼するメイン制御部220とを備えている。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日 1996年 3月26日

[変更理由] 住所変更

住 所 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号

氏 名 富士通株式会社